新型コロナウイルスの
社会的影響にかかわる調査
Part Ⅱ

2021 年度　「社会調査実習 B」報告書

辻 竜平　編

２０２２年3月

近畿大学総合社会学部
社会・マスメディア系専攻

まえがき

本報告書は，2021 年度後期に近畿大学総合社会学部社会・マスメディア系専攻の専門科目「社会調査実習 B」（担当教員：辻　竜平）において実施したウェブ調査「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」の報告書である．2020 年度後期にも同様の調査を行っており，本報告書は，そのパート 2 ということになる．

2019 年 12 月に中国湖北省武漢市において発生したと言われる新型コロナウイルス（COVID-19）は，日本を含めた世界各国・各地に拡散し，2020 年はそのパンデミックで全世界的に大きな影響が生じた．その影響は，公衆衛生はもちろん，経済・政治・社会・文化など社会のあらゆる領域に及ぶものであった．

本調査は，2021 年 11 月下旬から 12 月上旬にかけて行われた．インターネット調査を提供しているクロスマーケティング社の調査モニターを対象として実施された．前年度にも新型コロナウイルスにかかわる調査を行っていたので，今年度の調査は，そのフォローアップ的な意味も持っていた．昨年度の調査時期からの違いは，何といっても，その間にワクチン接種が始まったことだろう．そこで，2020 年度からの継続的な質問とともに，ワクチン接種にかかわる行動や意見などを積極的に取り上げた．調査を実施した時期は，デルタ株による 2021 年夏の第 5 波が去ってしばらく平穏が戻ってきたが，感染力の強いオミクロン株による感染者が少し増え始めた時期（第 6 波の初期）であった．その後，オミクロン株は，感染力は強いがあまり重症化しないことがわかってきて，その流行は，社会の新型コロナウイルスにかかわる人々の行動や意見をかなり変化させた．しかし，本調査は，デルタ株の流行を乗り越えて少し平穏が戻ってきた時期（オミクロン株の流行より前の時期）における経験や意見について扱っていると考えてよい．

ところで，「社会調査実習 B」は，社会調査士課程に含まれる科目であり，全ての統計系の科目と調査系の科目を最終的に統合し，実際に自らの手で調査を実施し分析する実習科目（区分としては G 科目）として位置づけられている．その配当年次は 3 年となっており，また本専攻においては，この科目の先修科目として，中級レベルの統計系科目である「量的解析法」（社会調査士 E 科目）もしくは「質的分析法」（社会調査士 F 科目）のいずれかの単位を修得していなければならない．「量的解析法」と「質的分析法」には先修科目はないものの，これらは初級レベルの統計系科目である「社会統計学 A」（社会調査士 C 科目），「社会統計学 B」（社会調査士 D 科目）の内容の上に立つ科目である．また，これらの統計系の科目とは別に「社会調査法 A」（社会調査士 A 科目）と「社会調査法 B」（社会調査士 B 科目）という調査系の科目も設けられている．そして先述したように，「社会調査実習 B」は，これらの全ての科目の総仕上げの科目として位置づけられる科目である．

この報告書は，調査に参加した学生たちの調査レポートをもとにしている．昨年度は学生たちを 3 つの班に分けたが，今年度は受講者が少なかったこともあり，個別にレポートを書いてもらった．そのため，内容的に重複することもあるが，相互に分析方法を統一し

たりすることはしなかった（たとえば，因子分析の因子抽出法や回転法は統一されていない）．あくまでも学生たちのレポートを中心に据え，辻が各レポートにコメントを付す形とした．

そうとはいえ，報告書をまとめるに当たっては，学生たちから提出された調査レポートをもとに，辻が推敲し，不必要な部分やテーマの本筋からそれた部分を削除するとともに，不足部分は補った．論理の一貫しないところは，大幅に手を入れた．また，分析自体の誤りがないかどうかについても，一通りの確認を行った．基本的には，誤りは正したものの，大きな問題ではないと判断した場合には，あえてそのままとしたところもある．全体としては，どの人の原稿についても，修正はかなりあった．いずれにせよ，辻が本報告書の内容について最終的な責任を負う．なお，「社会調査実習 B」の統計分析にあたって，学生たちは Microsoft Excel のマクロとして動作する統計ツールである「HAD ver. 17 build 202」を共通のツールとして用いた．また，辻は別途 STATA ver. 17.0 も併用して，データの前処理等の操作や検算などを行った．

本報告書の各章の内容について，概略を記しておく．

第 1 章「『新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査』の目的と概要」では，本調査の背後にある問題関心について述べたあと，調査の概要（方法）を記す．この部分は辻が書いたもので，学生たちの書いたレポートは，この部分は前提としてよいとし，方法論などで，これ以外に特に必要なことがらについては各自のレポートで触れるように指示した．

第 2 章から第 8 章は，上述のような修正を加えたが，各学生の執筆部分である．第 2 章から第 4 章は，新型コロナウイルスに関わるさまざまな状況の記述である．第 2 章は，感染対策に地域差があるかどうか，第 3 章は，コロナ禍の前後の夫婦仲の変化について，第 4 章は，友人・知人数と感染との関係について扱っている．第 5 章と第 6 章は，情報行動について扱っている．第 5 章は，情報源と不安の関係について，第 6 章は，不安について誰と共有しようとするかである．第 7 章と第 8 章は，ワクチン接種について扱っている．第 7 章は，楽観性・悲観性がワクチン接種の不安や接種行動に与える効果について，第 8 章は，不安がワクチン接種に与える効果についてである．

最後に，本報告書は，調査会社のモニターを使ったこともあり，サンプリングのバイアスは否めないが，ある程度の一般性はあるだろう．本報告書の結果が，何某かの実践的課題の解の手がかりになるならば望外の幸せである．

2022 年 3 月

近畿大学　総合社会学部　社会・マスメディア系専攻
教授　辻　竜平

「新型コロナウイルスの社会的影響にかんする調査」調査報告書

目次

まえがき …… i
目次 …… iii

第１章 「新型コロナウイルスの社会的影響にかんする調査」の目的と概要 … 1
第２章 新型コロナウイルスの感染対策は地域によって差があるのか…… 11
第３章 新型コロナウイルス流行にともなう夫婦仲の変容…… 17
第４章 友人・知人の多寡と新型コロナウイルスの感染…… 23
第５章 新型コロナウイルスに関わる情報源と不安の関係…… 25
第６章 新型コロナウイルスに関わる不安情報の拡散…… 33
第７章 楽観主義・悲観主義が新型コロナウイルスのワクチン接種に及ぼす影響 39
第８章 ワクチン接種に対する不安と接種行動…… 47

付録 …… 53
付録１ 「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」調査票 …… 54
付録２ 「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」基礎集計表 …… 69

第１章　「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」の目的と概要

１－１　「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」に至る経緯と目的

１－１－１　「新型コロナウイルス（COVID-19）」にかかわる経緯（2021 年 11 月初旬まで）

2019 年 12 月 31 日，中国湖北省武漢市において，肺炎のクラスターが報告され，新しいコロナウイルスであることが次第にわかってきた．2020 年 1 月 6 日には，日本でも厚生労働省（以下，厚労省）が注意喚起を行った．その後，新型コロナウイルス（COVID-19）は，中国から世界に広がり始めた．1 月 30 日には，WHO が「国際的な緊急事態」を宣言した．

2 月 3 日には，クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港したが，それ以前の寄港地である香港で，香港在住の乗客（男性）が下船したあと新型コロナウイルスに感染していることが確認されたため，2 月 19 日まで下船が許されず，結局 712 人が感染し，13 人が死亡した．

安倍首相（当時）は，3 月 2 日から，全国全ての小学校・中学校・高校などで，春休みに入るまで臨時休校するように要請した．それを受けて，各地で入試や卒業式が，厳重な対策を講じ，規模を縮小するなどして行われた．3 月 9 日には，「専門家会議」が，①換気の悪い密閉空間，②多くの人の密集，③近距離での会話や発話（密接）という「3 つの条件」（その後「3 密」と呼ばれるようになる）を示し，この条件が重なるような場所や場面を避けるように呼びかけた．3 月 11 日には，選抜高校野球が中止と決まり，3 月 24 日には，2020 年 7 月から開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックが 2021 年まで 1 年間延期されることになった．3 月 29 日には，国民的なコメディアンの志村けんさんが新型コロナウイルスによる肺炎のため亡くなり，国民に大きな衝撃を与えた．

4 月 7 日には，東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府・兵庫県・福岡県の 7 都府県に対して「緊急事態宣言」（第 1 回目）を行い，安倍首相は，外出を自粛し，人と人との接触機会を最低 7 割，極力 8 割削減するように呼びかけた．また，4 月 16 日には，「緊急事態宣言」は全国に拡大し，先述の 7 都府県に加えて，北海道・茨城県・石川県・岐阜県・愛知県・京都府の 6 道府県を合わせた 13 都道府県は「特定警戒都道府県」と位置づけられた．4 月 18 日には国内の感染者が 1 万人を超えたと報じられた．当初，「緊急事態宣言」は 5 月 6 日までであったが，5 月 4 日，政府は宣言を 5 月 31 日まで延長することとした．これを受けて，同日，日本相撲協会は，大相撲夏場所（24 日初日）の中止を発表した．また，5 月 20 日，日本高等学校野球連盟は，夏の甲子園大会の中止を発表した．しかし，「緊急事態宣言」は 31 日まで継続されず，途中，5 月 14 日に 39 県において宣言は解除され，21 日には大阪府・京都府・兵庫県において，25 日には残っていた東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・北海道において，宣言は解除された．3 月中旬から 5 月下旬あたりまでで，およそ「第 1 波」が終息したとされる．

ところが，宣言が解除されると，感染は再拡大し始めた．6 月 2 日，東京都は感染再拡大の兆候が現れたとして「東京アラート」を発動した（11 日に解除）．一方，6 月 19 日，政府は，新型コロナウイルスの感染拡大防止のための都道府県境をまたぐ人の移動の自粛要

請を全国で解除した．6 月 24 日，西村経済再生担当相は，政府との関係性や位置づけが不明確として「専門家会議」（座長は脇田隆字）を廃止（7 月 3 日）し，「新型コロナウイルス感染症対策分科会」（以下，分科会，会長は尾身茂）を設置する方針を明らかにした．

自粛ムードの一方で，経済を「回す」政策も始められた．7 月 10 日，赤羽国土交通相は，新型コロナウイルスで打撃を受けている観光業界を支援する「Go To トラベル」キャンペーンを 7 月 22 日から始めると発表した．当初，8 月上旬の開始が見込まれていたが，前倒しされた形になった．しかし，感染流入を懸念する地方の声に配慮するため，7 月 16 日，政府は，東京発着を対象外とする方針を決めた．

7 月 10 日には，プロ野球公式戦 5 試合とサッカーJ リーグの J2 の 1 試合が，観客を入れた状態で開催された．J1 も 11 日の試合から観客を入れ始めた．観客は，マスク着用や数席離れた着席などの感染防止策に協力するように求められた．7 月 19 日からの大相撲 7 月場所は，通常は名古屋市で開催されるところ，東京にて開催された．

6 月頃は新規感染者数は低めで安定していたが，7 月頃からは再び新規感染者数が増加しはじめ，いわゆる「第 2 波」が始まった．そのピークは 8 月上旬であった．新規感染者数は，その後減少傾向に転じ，9 月下旬頃には下げ止まった．それでも第 1 波のピーク時程度までしか下がらず，横ばいとなった．第 2 波の始まりは「Go To トラベル」キャンペーンの開始と重なっていたためか，マスメディアの報道においても，第 2 波の感染状況の深刻さをあまり強くは伝えなかった．

国内政治では，8 月 14 日に自民党総裁選で菅義偉官房長官が第 26 代総裁に選出され，16 日の臨時国会で第 99 代首相に指名され，菅内閣が発足した．所信表明演説は 10 月 26 日で，新型コロナウイルス対策と経済活動を両立させる方針を表明した．

10 月 29 日には，国内の新型コロナウイルスの感染者が 10 万人を超え，死者数も 1761 人となった．新型コロナウイルスの新規感染者数は 11 月に入る頃からにわかに増加した．これが「第 3 波」の入り口であった．昨年度の調査は，11 月 13 日から 15 日にかけて行われた．この時期は第 3 波の初期であり感染者の増加傾向があるものの，人々の危機感などは，まだそれほど強くなかった．

その後，「第 3 波」は，2021 年 1 月初旬から中旬頃にピークを迎え，1 月 8 日からは東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県で第 2 回目の緊急事態宣言が発令された．また，14 日からは，大阪府，京都府，兵庫県，愛知県，岐阜県，福岡県，栃木県でも緊急事態宣言が発令された．次第に新規感染者数が減少したことから，栃木県では，予定どおり 2 月 7 日に緊急事態宣言が解除され，愛知県，岐阜県，大阪府，京都府，兵庫県，福岡県では，2 月 28 日に，東京都，埼玉県，千葉県，神奈川県では，3 月 21 日に解除された．

ワクチンの開発・接種も進められた．2020 年 12 月 8 日，（開発・治験段階は除き）世界で初めて，イギリス人女性にファイザー社のワクチンの接種が行われ，その後欧米でワクチン接種が進んだ．日本ではやや遅れ，2021 年 2 月 14 日にファイザー製のワクチンが薬事承認され，2 月 17 日から，医師・看護師らに対するワクチン接種が始まった．その後，武田/モデルナ製とアストラゼネカ製のワクチン 5 月 21 日に薬事承認され，武田/モデルナ製のものが 5 月 24 日から，アストラゼネカ製のものが 8 月 3 日から接種開始された．

ワクチン接種は，上記のとおり，2 月 17 日に医師・看護師への接種が始まったのを皮切りに，4 月 12 日からは 65 歳以上の高齢者への優先接種が始まり，5 月 10 日から 65 歳以上の高齢者への接種が開始された．5 月 24 日には東京と大阪の「大規模接種センター」で武田/モデルナ製ワクチンによる接種が始まった．6 月 1 日には 12 歳以上の接種が適用となり，6 月 17 日には，18～64 歳までの人々への接種が開始された．また，6 月 21 日には，職域接種が開始された．そんな中，8 月 26 日，武田/モデルナ製のワクチンに，複数の接種会場から異物混入が報告され，同一ロットのものなど 163 万回分の使用が見合わせられた．

ワクチン接種が進行する一方，4 月中旬になると再び感染が拡大しはじめ，「第 4 波」となった．4 月 25 日，東京都，大阪府，京都府，兵庫県の 4 都府県で 3 回目の緊急事態宣言が発令された．その後も，5 月 12 日には，愛知県，福岡県，16 日には，北海道，岡山県，広島県，23 日には，沖縄県にも緊急事態宣言が発令された．6 月 20 日，沖縄県以外の緊急事態宣言は解除された．

東京オリンピックの開催も，新型コロナウイルスの影響を免れなかった．2021 年 3 月 20 日，東京五輪・パラリンピック組織委員会，東京都，政府，国際オリンピック委員会，国際パラリンピック委員会の 5 者会談が開かれ，海外からの観客の受け入れを断念することとなった．3 月 25 日には福島県から聖火リレーが始まったが，感染拡大防止の観点などから，都道府県によって聖火リレーそのものを中止したり縮小したりするところが相次いだ．6 月 21 日，東京五輪・パラリンピック大会組織委員会は，5 者会談を行い，まん延防止等重点措置が大会前に解除されれば，観客上限を会場定員の 50%以内かつ 1 万人を上限とする方針を決めた．しかし，デルタ株による感染拡大にともない，7 月 8 日には，東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県で実施される全競技と，開閉開式を無観客で開催することとなった．12 日には，東京都に 4 回目の緊急事態宣言が発令されたため，23 日に開幕した大会は，緊急事態宣言下での開催となった．

上述のとおり，7 月 12 日に東京都で「第 5 波」による 4 回目の緊急事態宣言が発令された（沖縄県は，以前から継続）．また 8 月 2 日には，神奈川県，埼玉県，千葉県，大阪府に，20 日には，茨城県，栃木県，群馬県，静岡県，京都府，兵庫県，福岡県に，27 日には，北海道，宮城県，岐阜県，愛知県，三重県，滋賀県，岡山県，広島県に緊急事態宣言が発令された．第 5 波は，主としてデルタ株によるものであり，ゲノム解読された症例の約 9 割がデルタ株であった（国立感染症研究所，2021）．宣言は 10 月 1 日に一斉に解除された．

その後しばらく一時的に平穏な時期となった．ワクチン接種がかなり進んだことによるものと考えられた．

2021 年 9 月 29 日，自民党総裁選挙が行われ，岸田文雄が第 27 代総裁に選ばれた．

本調査は，2021 年 11 月下旬から 12 月上旬にかけて行われた．一時的な平穏な時期から，感染力が非常に強いオミクロン株によって，少しずつ新規感染者数が増加し始めた頃であった．この頃の増加が，やがて「第 6 波」へとつながっていくことになった．

１－１－２　「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」の目的

「社会調査実習 B」の 2021 年調査において，われわれは 2020 年度に引き続き，「新型コ

ロナウイルスの社会的影響」について取り上げることとした.

2021 年度調査では，昨年度に引き続き，人々のコロナウイルスに関わる不安や感染防止対策について扱うとともに，昨年度，調査会社の制約から十分に扱えなかった，自己や周囲の他者の感染状況について扱うこととした. また，新たにワクチン接種が開始されたことから，自己や周囲の他者の接種状況や，ワクチン接種に関わる不安や期待についても扱うこととした.

学生たちの関心は，大きくくくれば，新型コロナウイルスに関わる状況（地域差，夫婦仲の変化，感染経路），関連する情報の収集や拡散，ワクチン接種（不安，ピア・プレッシャー）というあたりにあった．これらの 3 つの領域別に，本報告書を編むことにした．他にも，調査票では，安倍政権・菅政権・岸田政権で，首相のほか新型コロナウイルス対策を担ってきた諸大臣や，専門家会議の座長や分科会の会長に対する新型コロナウイルス対策への評価なども測定した.

１－２　「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」の方法

１－２－１　調査時期

調査時期は，2021 年 11 月 29 日（月）から 12 月 3 日（金）にかけてであった．夏頃のデルタ株による「第 5 波」が落ち着いたが，オミクロン株が流入し，少しずつ年末以降の「第 6 波」への兆しが見え始めた頃であった. しばらく小康状態が続いていた頃でもあり，国民にも安堵感が漂い，人によっては，新型コロナウイルスは乗り越えられたというような気持ちを持つ人もいたかもしれない. やや弛緩した雰囲気があった時期でもあり，回答者の回答には，そういった気分が反映されているところがあるかもしれない.

１－２－２　調査方法と対象者

昨年度は，インターネット調査会社であるマクロミル社に調査を依頼したが，マクロミル社から，社内の制約のため，新型コロナウイルスへの感染歴など，肝心のことが聞けなかった．そのため，今年度は，調査会社を変更することとし，クロス・マーケティング社に依頼することとした. クロス・マーケティング社は，インターネット調査を事業の一部として実施するマーケティング・リサーチ会社である. そのインターネット調査は，ビジネス向け（B to B）のものに限らず，学術調査をはじめ，一般的な意識調査なども実施可能である.

調査票の作成は，クロス・マーケティング社に委託せず，辻がインターネット調査のための調査票作成ツールである Qualtrics を利用して作成することとした．クロス・マーケティング社には，その調査モニターを借りて，Qualtrics の調査票に誘導してもらう形式で実施した.

標本は，計画表本数をおよそ 710 票と定め，性別（2 層）×年齢層（7 層）×居住地（2 層）から成る 28 層を人口比に従って割り付けした．年齢層は，15 歳（ただし中学生は除く）から 74 歳で，表１－１にある 7 層，居住地域は，8 大都市圏で中心市を含む都道府県（都市部と表記，北海道・宮城・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡・愛知・京都・大阪・兵庫・広島・福岡を含む）と，それ以外の県（地方部と表記）の 2 層であった.

実際の回収に当たっては，各層の最低人数を定め，全ての層が最低人数を上回った時点で回収が終了された．この時点で，918 票となり，人口比には従わなくなっていた．

受講生が調査票をチェックしながら回答した回答時間は，30～50 分程度だったため，回答時間が 10 分未満の人と，1 万秒（2 時間 46 分くらい）以上の人を一律に分析対象から除外した．結果的に，666 票を分析対象とすることとなった．ほかにも対象者の回答パターンから回答者を選別する方法は開発されているが，ここまでとした．実際に分析をしてみると，ある程度適当な分析結果が得られていると思われた．

表１－１　都市部と地方部のサンプルサイズ

	都市部		地方部	
年齢層	男性	女性	男性	女性
15～19	8	5	8	9
20 代	20	29	7	10
30 代	26	44	14	13
40 代	31	51	22	21
50 代	31	31	19	35
60 代	42	57	25	36
70～74	24	25	12	11
小計	182	242	107	135
合計				666

回答に当たっては，この調査が「新型コロナウイルスの社会的影響」にかかわる学術調査であること，回答時間が 30～50 分くらいかかること，本調査をもとにして学術論文や報告書が書かれる予定だが，個人情報が公表されることはないことなどを記載し，これらに同意した人のみが回答することとした．先に挙げた総回収数 918 票は，全てこれらに同意したもののみを数えたものである．

１－２－３　質問項目一覧

調査票は，全 47 問で構成されていた．その質問項目の内容を簡潔に分類・整理したものが下の表１－２である．

表１－２　質問項目一覧

質問番号	質問内容	備考
1	回答への合意	
2	性別	属性
3	居住都道府県	属性
4	年齢	属性
5	中学生/高校生	属性
6	雇用形態	属性
7	職業	属性, 取得に問題
8	新型コロナウイルスに影響を受ける職業	属性
9	通勤・通学時間	
10	通勤・通学手段	取得に問題
11	居住地域	
12	婚姻状況	属性
13	高校生以下の子どもの人数	属性
14	新型コロナウイルスの感染経験	
15	家族・親戚の新型コロナウイルスの感染状況	
16	職場での新型コロナウイルスの感染状況	
17	友人・知人の新型コロナウイルスの感染状況	
18	友人・知人で新型コロナウイルスに感染した人との関係性	
19	東日本大震災で亡くなった友人・知人数	
20	ワクチン接種の回数	
21	1 回目のワクチン接種の月	
22	2 回目のワクチン接種の月	
23	家族・親戚におけるワクチン接種者（1 回目ワクチン接種時）	
24	職場（学校）におけるワクチン接種率（1 回目ワクチン接種時）	
25	友人・知人におけるワクチン接種率（1 回目ワクチン接種時）	
26	現在の配偶者と 2019 年 12 月以前から結婚していたか	
27	新型コロナウイルス流行後の配偶者との関係の変化	
28	新型コロナウイルス流行後の配偶者との関係の満足感の変化	一部取得に問題, 対応済
29	テレワークの実施状況（コロナ以前，第 1 回緊急事態宣言中，現在）	
30	新型コロナウイルス情報の入手先	
31	感染予防対策	
32	新型コロナウイルスへのさまざまな不安	
33	ワクチン接種への態度	一部取得に問題
34	新型コロナウイルスの社会的影響に対する不安	
35	新型コロナウイルスの社会的影響について伝達・対話したいか	
36	2021 年 10 月 31 日の衆議院議員選挙で投票した政党（小選挙区・比例区）	
37	政権担当者の新型コロナウイルス対策への評価	
38	SNS の利用（Twitter, Facebook, Instagram, LINE）	
39	SNS でのフォロー数・友人数	
40	20 種類の苗字を持つ友人・知人数（電話帳法による知人数推定）	
41	文化的自己観尺度	心理尺度
42	楽観主義・悲観主義尺度	心理尺度
43	一般的信頼尺度，外向性尺度	心理尺度
44	権威主義尺度	心理尺度
45	学歴	属性
46	2019 年，2020 年，2021 年（見込）の個人収入	属性
47	2019 年，2020 年，2021 年（見込）の世帯収入	属性

取得に問題があった項目の詳細については，１－２－４を参照.

１－２－４　データ取得にかかわる問題

既述のとおり，調査票の作成は，辻が Qualtrics を利用して作成した．しかしながら，辻が Qualtrics の操作に習熟していなかったことから，設定をミスしてデータが取れなかった設問がいくつかあった．以下では，各設問においてどのような問題が生じたか，それに対する対応などについて述べる．なお，設問の正確な内容については，付録を参照していただきたい．設定ミスが起こったのは，辻が Qualtrics を扱いなれていなかったことが大きな理由である．

Q7（職業）：

職業に回答するための条件の設定を誤り，回答すべき人（有職者）からデータが取れなかった．社会学にとって，職業は非常に重要な設問であるため，クロス・マーケティング社が調査モニターを募集する際に使った職業カテゴリーデータを提供してもらった．しかし，提供されたデータには，職業だけでなく，雇用形態が入り交じったカテゴリーになっていたりしたため，Q7 の元のカテゴリーと一致させるのが難しく，対応付けはうまくできなかった．学生には，別途，雇用形態（Q6）や新型コロナウイルスに影響を受ける職業（Q8）もあるので，それを使った方がよい場合が多いだろうと教示した．実際に，Q7 をリコードした結果は，下記の表１－３のとおりである．

表１－３　職業（Q7）の選択肢（選択カテゴリー）とクロス・マーケティング社提供の職業カテゴリーとの対応関係

Q7 の選択肢番号	本調査票で意図していたカテゴリー	クロス・マーケティング（CM）社から提供された職業カテゴリーとの対応	本調査票と CM 社の職業カテゴリーとの一致度などの評価
1.	「農林水産業」	CM の「農林漁業」を当てる	おおむね一致
5.	「管理的職業（課長相当以上の管理職、議員など)」	CM の「会社勤務（管理職)」または「会社経営（経営者・役員)」を当てる	議員などは含まれない．元の設問の意図よりも，含まれる職業がやや限定的
6.	「専門的職業（医師、弁護士、教員、エンジニア、プログラマー、看護師、介護士、作家、デザイナー、編集者など)」	CM の「専門職（弁護士・税理士等の法務経営の専門職)」または「専門職（医師等の医療関連の専門職)」を当てる	教員，エンジニア，プログラマー, 作家, デザイナー，編集者などは含まれない．元の設問の意図よりも，含まれる職業がかなり限定的
7.	Q7 の選択肢としては設定なし.「無職・家事・学生・生徒」のカテゴリー	職業（Q6）が「無職・家事」または「学生・生徒」の場合	
2 と 3 と 4.	「技能・労務・作業系の職業（工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業者、運転手など)」,「販売・サービス系の職業（店主、店員、営業社員、美容師、クリーニング、給仕、接客、清掃、ヘルパーなど)」,「事務的職業（事務員、銀行員など)」	職業（Q6）で「無職・家事」または「学生・生徒」ではなく，Q7 の 1，5，6 に当てはまらず，CM の「専業主婦・主夫」,「学生」,「無職」にも当てはまらない場合．職業の 2 と 3 と 4 を弁別することはできないので，残余カテゴリーとして扱わざるを得なかった	かなり多くの職業が含まれる雑多なカテゴリーになってしまった

Q10（通勤・通学手段）:

通勤・通学手段に回答するための条件の設定を誤り，回答すべき人（Q6 で「無職・家事」以外の人）からデータが取れなかった．これについては，諦めざるを得なかった．

Q28_1（「子育てに対する配偶者の取り組み方」に対する評価）:

Q28 は，新型コロナウイルスが流行して以降の夫婦関係の変化についての設問である．そのため，Q12 で「結婚している（現在配偶者がいる）」人で，かつ，Q26 でその配偶者と「新型コロナウイルスの流行以前（2019 年 12 月以前）から結婚して」いた人を対照としている．その中で，項目 Q28_1（「子育てに対する配偶者の取り組み方」に対する評価）は，Q13 で「高校生以下のお子さん」の人数が「0 人」ではない場合のみに尋ねるつもりだったが，その条件を設定ミスし，高校生以下の子どもがいない場合にも尋ねてしまった．そこで，Q13 の高校生以下の子どもがいる場合に数値を残し，それ以外の場合は欠損値に変換した．

Q33_7, Q33_8（ワクチン接種に対する意見のうち，女性限定で尋ねるべき項目）:

Q33_7 は「不妊や胎児への影響など、女性の身体に悪影響があるのではないかと感じた（感じる）」，Q33_8 は「子宮頸がんのワクチンの安全性に疑問を感じているので、新型コロナウイルスのワクチンにも慎重にならざるを得ないと思った（思う）」という項目で，女性限定で尋ねるべき項目であったが，回答すべき女性のデータが（もちろん男性も）取れなかった．これについては，諦めざるを得なかった．

受講生には，データに以上のような問題や制約があることを伝えた上で分析に取りかかるように指示した．

引用文献

国立感染症研究所，2021，「国内流行初期の SARS-CoV-2 デルタ株国内探知症例の疫学的，分子疫学的特徴について」『病原微生物検出情報』42(11): 267 - 270.

第２章　新型コロナウイルスの感染対策は地域によって差があるのか

２－１　目的

新型コロナウイルス（COVIC-19）の感染が拡大し、2021 年 11 月 19 日現在、日本国内の感染例は 1,726,663 例、死亡者は 1,834 人である。

各自治体は毎日、新規感染者数を数え、発表している。また、厚生労働省のホームページでは、各都道府県のその日の感染者数に加え、全国の新規陽性者数の推移（日別）、重症者の推移などが掲載されている。マスメディアや各省庁機関が毎日、情報やデータが発信すると共に、手洗いやうがい、手指の消毒に加え、「三密」を避けるなどの感染対策を呼びかけている。

政府が呼びかけている感染予防対策は、基本的に全国一律で、どの地域でも同じである。しかし、感染者が多い都市部と少ない地方部に住んでいる人の間では、感染予防対策に注力する程度に違いがあるかもしれない。この点について検討する。

２－１－１　先行研究と仮説

平山（2021）は、新型コロナウイルスの第 1 波の時期に行った調査で以下のことを示した。まず、2020 年 4 月 16 日の時点で特定警戒区域に指定されていた東京都や北海道、大阪府、京都府、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、石川県、岐阜県、愛知県、兵庫県、福岡県の 13 都道府県とその他都道府県を非特定警戒区域に分類した。そして、マスクの着用と石鹸での手洗い、換気、消毒の 4 種類の予防対策の実施頻度について、非特定警戒地域と特定警戒区域別に分析した。その結果、非特定警戒区域では、未知性の不安→リスク認知→対策実施頻度という関係があるのに対して、特定警戒区域では、未知性の不安→対策実施頻度という直接的な関係があることが発見された。

また、辻（2022）は、第 3 波の初期に行った調査で、新型コロナウイルスの感染者数の多い都道府県に住んでいる人ほど、新型コロナウイルスにかかわる情報を新聞やテレビから頻繁に入手する傾向があることを示した。

感染者数の多い都道府県は、実質的には大都市部が含まれることが多いから、都市部においては、不安感の高まりから、情報収集を行ったり、感染予防対策が行われるものと考えられる。

ここから、次の仮説について検討することとする。

仮説 : 新型コロナウイルスの感染者数が多い都市部に住んでいる人ほど、感染予防対策を行う。

２－２　方法

仮説を検討するための準備として、はじめに感染対策（Q31）の因子分析を行う。また、居住都道府県（Q3）をもとにして、8 大都市圏を含む都道府県か否かに分類する。都道府県

を単位にするのは、政府統計やマスメディアにおいて、感染状況などが都道府県別に提示されることが多いから、人々は居住地付近に感染が多いかどうかを、都道府県単位で認識していると考えられるためである。そして、それらの各因子を従属変数とし、都市部を含む都道府県かどうかを独立変数とした重回帰分析を行う。

２－３　結果

新型コロナウイルスの 12 項目の感染対策（Q31_1～Q31_12）について、反復主因子法（バリマックス回転）による因子分析を行ったところ、ウイルスの繁殖を抑える感染対策や死滅させる感染対策である「除菌・繁殖防止」、感染リスクがある場所を避けるなどの対策である「行動制限」、咳やくしゃみなどの飛沫感染を予防する「飛沫感染予防」の３つの因子を得た。

表２－１　新型コロナウイルスの感染対策の因子分析（反復主因子法、バリマックス回転）

項目	除菌・繁殖防止	行動制限	飛沫感染予防
持ち物の頻繁な除菌	**.871**	.158	.100
頻繁な換気	**.614**	.354	.249
帰宅後すぐにシャワーや入浴を行う	**.568**	.262	.064
ペーパータオルの使用	**.512**	.163	.149
こまめな手洗い	**.494**	.351	.451
外出時の除菌ジェルやスプレーの使用	**.470**	.185	.393
人混みを避ける	.239	**.861**	.184
他人との距離	.305	**.735**	.215
換気の悪い場所に行かない	.423	**.659**	.235
体調不良時の外出自粛	.198	**.602**	.421
外出時のマスクの着用	.104	.208	**.764**
マスクやハンカチ、ひじの内側などを使った咳エチケット	.184	.193	**.704**
因子寄与率(%)	21.7	21.3	15.4
信頼性係数α	.825	.882	.736

新型コロナウイルスの感染対策にかかわる 3 つの因子に対して、都市部を含む都道府県に住んでいることがどのくらい影響しているのかを検討するために、重回帰分析を行った。

重回帰分析には、独立変数に都市部ダミーを投入した。それに加え、性別・年齢・学歴・職業・2021 年収入（log）というデモグラフィック変数と、周囲の人々の感染状況（自身の感染・同居家族の感染・同居以外の家族親戚の感染）を統制変数として投入した。周囲の人々の感染を投入するのは、そのような経験をすると、感染防止に対する意識が高まると考えられるからである。その結果は以下の表２－２から表２－４のとおりである。

表２－２　除菌・繁殖防止にかかわる重回帰分析

変数	標準化偏回帰係数		単相関	
都市部	.009		.010	
性別	.191	**	.166	**
年齢	.058		.044	
2021 年収入（log）	-.007		.002	
学歴	-.004		-.020	
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.118	**	.079	*
正規雇用	.097	+	.024	
臨時雇用・パート・アルバイト	.013		.011	
派遣社員・契約社員	.003		-.022	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	.005		-.034	
学生	-.029		-.079	*
自身の感染	-.116	*	-.057	
同居家族の感染	.084	+	.014	
同居以外の家族親戚の感染	.012		.014	

$F(14, 651) = 2.776$ **, $R^2 = .056$, Adj. $R^2 = .036$, N=666, ** p < .01, * p < .05, + p < .10

表２－３　行動制限にかかわる重回帰分析

変数	標準化偏回帰係数		単相関	
都市部	-.004		-.002	
性別	.146	**	.151	**
年齢	.119	*	.166	**
2021 年収入（log）	-.018		-.020	
学歴	.034		.007	
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.060		.039	
正規雇用	-.045		-.067	+
臨時雇用・パート・アルバイト	-.076	+	-.030	
派遣社員・契約社員	-.045		-.032	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.005		.010	
学生	-.097	*	-.136	**
自身の感染	-.072		-.077	*
同居家族の感染	.000		-.054	
同居以外の家族親戚の感染	.043		.037	

$F(14, 651) = 3.592$ **, $R^2 = .072$, Adj. $R^2 = .052$, N=666, ** p < .01, * p < .05, + p < .10

表２－４　飛沫感染防止にかかわる重回帰分析

変数	標準化偏回帰係数		単相関	
都市部	.044		.034	
性別	.242	**	.240	**
年齢	.073		.043	
2021 年収入（log)	.095	*	-.042	
学歴	.003		-.029	
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	-.011		-.027	
正規雇用	-.093	+	-.116	**
臨時雇用・パート・アルバイト	-.031		.039	
派遣社員・契約社員	-.063		-.055	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.050		-.052	
学生	.127	**	.076	*
自身の感染	-.044		-.069	+
同居家族の感染	-.008		-.053	
同居以外の家族親戚の感染	.051		.063	

$F(14, 651) = 4.658$ **, $R^2 = .091$, Adj. $R^2 = .072$, N=666, ** p < .01, * p < .05, + p < .10

これらの結果をまとめると、表２－５のようになる。

表２－５重回帰分析のまとめ

	主な変数の効果の有無	効果のある統制変数
除菌・繁殖防止		性別(++), 従業員 30 人以上の経営者・役員(++), 自身の感染（-)
行動制限		性別(++), 年齢(+),学生（-)
飛沫感染防止		性別(++), 収入(+), 学生(++)

+は正の関係を、-は負の関係を表す。符号 1 つは 5%水準で有意、符号 2 つは、1%水準で有意を表す。

3 つの重回帰分析において、都市部を含む都道府県であることの効果は、いずれも認められなかった。

２－４　考察

これらの結果から、「新型コロナウイルスの感染者が多い都市部に住んでいる人ほど、感染対策を行う」という仮説について検討する。「除菌・繁殖防止」、「行動制限」、「飛沫感染

予防」の 3 つの因子を従属変数とした重回帰分析を行ったところ、3 つ全ての対策において、「都市部」の影響は見られなかった。つまり、新型コロナウイルスの感染対策の程度は、地域によって違うわけではないことがわかった。

分析から見えてきた他の側面としては、「除菌・繁殖防止」について、「従業員 30 人以上の経営者・役員」が取り組んでいる様子がうかがえた。事業所の他部署への感染を広めないために、より注意を払っている様子がうかがえる。その一方で、一度新型コロナウイルスに感染してしまった人は、「除菌・繁殖防止」対策がおろそかになる様子もうかがえた。

学生は、「行動制限」はしないが、その代わりに「飛沫感染防止」にはより積極的に取り組んでいるようである。行動力のある若年層の行動の抑制は難しいが、彼らは彼らなりに気を遣っているようである。しかしながら、この方略は第 5 波のデルタ株までの対策としては、ある程度有効だったかもしれないが、この調査より後に出現したより感染力が強いオミクロン株に対しては有効とは言えなかった。第 6 波で若年層の感染者の割合が増えたのは、この素人対策が不十分なものであったことを示唆している。

引用文献

平山奈央子，2021,「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための感染予防行動に影響を与える要因」『リスク学研究』31(2): 103 - 111.

辻竜平，2021,「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」『2020 年度「社会調査実習 B」報告書』21 - 34.

辻のコメント

先行研究は，挙げられてはいたが，内容の理解は不正確だった．これについては，辻が修正した．それにともなって，仮説を導くロジックについても修正した．

感染予防対策の 12 項目について，反復主因子法による因子分析を行っているが，これらは対策行動の分類であると考えるならば，主成分分析の方が自然であるように思う．主成分分析の場合，固有値 1 以上の主成分が 3 つ析出され，回転しなければ，全 12 項目が第 1 主成分にまとまる．感染予防行動として一括できるということである．これをバリマックス回転すると，各項目は 3 つの主成分に分かれるが，このとき，反復主因子法による 3 因子とほぼ同じ構造となる．違いは，「こまめな手洗い」の項目が「飛沫感染予防」に入る点のみである．反復主因子法を用いることはあまり適当とは思えないが，実際に析出された因子構造からすれば，実質的にこれでほぼ問題はなさそうである．したがって，それ以降の分析について，特にやり直しを命じることなく，このままとした．

重回帰分析の読み取りにも，誤解や甘さが見られたので，辻が修正・追記した．

第３章　新型コロナウイルス流行にともなう夫婦仲の変容

３－１　目的と仮説

2020 年初頭から中国の武漢市で発生したとされる新型コロナウイルスにより人々の生活は大きく変化した。ほどなく日本でも感染が始まり、同年 4 月には政府は緊急事態宣言を発出し、国民に対し広く自粛を促した。また、同時に原則学校の休校や企業に対するテレワーク実施を要請した。厚生労働省が掲載する「テレワーク総合ポータルサイト」の定義（厚生労働省，2022）によると、テレワークとは「情報通信技術（ICT＝Information and Communication Technology）を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」のことであり、Tel（離れて）と Work（仕事）を組み合わせた造語であるとしている。テレワークには、在宅勤務やサテライトオフィス、モバイル勤務といった 3 つの区分がある。つまり、本拠地であるオフィスから離れた場所で、ICT を用いて勤務をすることである。

新型コロナウイルス蔓延の影響で、以前に比べテレワークをする機会が増えた人々は多いだろう。また、テレワークには 3 つの区分があると言及したが、新型コロナウイルスの拡大期では特に外出自粛やステイホームが呼びかけられていることに加え、教育機関の閉鎖により子どもたちが家に居ることを勘案し、在宅勤務を選択する親もいるだろう。

ところで、新型コロナウイルスが蔓延する前までは、夫婦の片方ないし両方が出勤するため、夫婦で過ごす時間は帰宅してからだけになることが多かった。しかし、テレワークの普及に伴い、例えば夫婦が一緒に食事をとる機会やコミュニケーションの量が増えることによって、結果的に夫婦の仲は良くなった可能性がある。

一方で、ステイホームにより家族が家に居る機会が増えたため、食事の準備をはじめとする家事が増加した。また、高校生以下の子どもは家族と同居するケースが多い。したがって、高校生以下の子どもの数が多ければ多いほど、家事などの負担が増大し、それによる疲労やストレスも増大すると考えられる。ストレスが増大すると、些細なことでも衝突してしまい、結果的に夫婦間の仲は悪化してしまう可能性がある。

これまでの話を合わせて考えると、高校生以下の子どもの数が少ない（あるいはいない）ほど、子どもに対する負担や時間が軽減され、夫婦の時間を長くとることができるため、より一層仲が良くなると予想される。他方、子どもの数が多いほど、子どもに対する負担や時間が増加し、夫婦が長時間一緒にいることが災いとなり、仲が悪くなると予想される。そこで以下の仮説を立てた。

仮説：新型コロナ禍で、子どもが少ない（いない）ほど、テレワークをする夫婦の仲は良くなったが、子どもが多いほど、テレワークをする夫婦の仲は悪くなった。

３－２　方法

この仮説を検証するためにいくつかの準備が必要である。

1 つ目は、配偶者が自分にしてくれること 3 項目（「配偶者が心配事や悩みごとを聞いて

くれること」、「配偶者が能力や努力を高く評価してくれること」、「配偶者が助言やアドバイスをしてくれること」）について、それらが新型コロナウイルスの流行以降にどれだけ変化したか（「増えた」～「減った」の 5 段階尺度）を主成分分析し、類似する傾向をまとめることである。

2 つ目は、夫婦間の関係を表す 5 項目（「子育てに関する配偶者の取り組み方」、「家事に対する配偶者の取り組み方」、「配偶者の仕事について（無職の場合は、仕事をしていない状態について）」、「性生活について」、「夫婦関係全体について」）について、コロナ禍前と比較して満足度がどれだけ変化したか（「満足度が高くなった」～「満足度が低くなった」の 5 段階尺度）を因子分析し、共通因子を析出することである

3 つ目は、テレワークの実施状況に関する変数の設定と作成である。ここで使用する変数は、「最初の緊急事態宣言(2020 年 4 月)以前」のテレワーク（オンライン授業）の日数と、「最初の緊急事態宣言以降で最も自宅勤務が多かった時」から「最初の緊急事態宣言以前」の値を引いたものであり、これは最初の緊急事態宣言前後のテレワークの変化を表す。つまり、新型コロナ以前とそれ以降の差を設定し、どちらが夫婦仲に対して効果があるのかを検討するわけである。

また、統制変数はいくつかあるが、そのうち「2020 年と 2019 年の収入の差分」として、「2020 年の世帯収入（対数変換したもの）」－「2019 年世帯収入（対数変換したもの）」を使う。

３－３　結果

３－３－１　夫婦関係と夫婦間の満足度に関する因子分析

配偶者が自分にしてくれることの変化（「夫婦関係の変化」と略記）と夫婦関係の満足度の変化に関する主成分分析の結果は以下の通りである。

表３－１　夫婦関係の変化に関わる主成分分析

項目	夫婦関係の変化
配偶者が助言やアドバイスをしてくれること	**.908**
配偶者が能力や努力を高く評価してくれること	**.907**
配偶者が心配事や悩みごとを聞いてくれること	**.890**
寄与率	.813
信頼性係数α	.885

表３－２　夫婦関係の満足度の変化に関する因子分析（反復主因子法）

項目	夫婦関係の満足度の変化
夫婦関係全体	**.847**
家事	**.783**
仕事	**.725**
子育て	**.529**
性生活	**.463**
因子寄与率	.470
信頼性係数α	.798

それぞれの因子分析から得られた因子は 1 つずつだったので、それらの因子を「夫婦関係の変化」と「夫婦関係の満足度の変化」と名づけた。

３－３－２　夫婦関係と夫婦間の満足度に関する重回帰分析

はじめに、夫婦関係の変化を従属変数とした重回帰分析の結果を示す。

表３－３　夫婦関係の変化に関する重回帰分析

従属変数：夫婦関係の変化	標準化偏回帰係数		単相関
高校生以下の子どもの数	-.040		-.019
最初の緊急事態宣言以前の自宅勤務の日数（1 週当たり）(Tele_0)	-.085		-.039
自宅勤務の増分(Tele_dif)	-.069		.004
高校生以下の子どもの数×Tele_0	.009		-.023
高校生以下の子どもの数×Tele_dif	.081		.064
性別（1: 女性）	.096		.072
年齢	-.078		-.090
Log(2019 年世帯収入)	-.045		.057
2020 年の世帯収入の差分	-.017		-.031
学歴	.150	+	.041
雇用形態（基準：無職）			
従業員 30 人以上の経営者・役員	.121		.107
臨時雇用・パート・アルバイト	-.066		-.020
派遣社員・契約社員・嘱託社員	.025		.026
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.096		-.082

$F(14, 190) = 0.915$, n.s., $R^2 = .063$, Adj. $R^2 = -.006$, N＝205, ** p<.01,* p<.05, + p<.10

モデル全体が有意ではなかった。

次に、夫婦間の満足度の変化を従属変数とした重回帰分析である。

表３－４　夫婦関係の満足度の変化に関する重回帰分析

従属変数：夫婦関係の満足度の変化	標準化偏回帰係数		単相関
高校生以下の子どもの数	-.096		-.072
最初の緊急事態宣言以前の自宅勤務の日数（1 週当たり）(Tele_0)	-.039		-.020
自宅勤務の増分(Tele_dif)	-.035		-.006
高校生以下の子どもの数×Tele_0	-.020		-.041
高校生以下の子どもの数×Tele_dif	.023		.021
性別（1: 女性）	.004		-.031
年齢	-.151	+	-.043
Log(2019 年世帯収入)	-.093		.033
2020 年の世帯収入の差分	-.129	+	-.090
学歴	.054		.069
雇用形態（基準：無職）			
従業員 30 人以上の経営者・役員	.292	**	.242
臨時雇用・パート・アルバイト	.004		-.019
派遣社員・契約社員・嘱託社員	.054		.031
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	.062		.022

$F(14, 190) = 2.057$, $p < .05$, $R^2 = .132$, Adj. $R^2 = .068$, N＝205, ** p<.01,* p<.05, + p<.10

モデル全体は有意であったが、自宅勤務にかかわる変数やその交互作用に有意なものはなかった。

統制変数については、「従業員 30 人以上の経営者・役員」が正に有意であった。また、10%水準ではあるが、「2020 年の世帯収入の差分」に負に有意な傾向が見られた。

３－４　考察

テレワークにかかわる変数や交互作用は、夫婦関係の変化にも夫婦関係の満足度の変化にも影響を及ぼしていなかった。これは、テレワークを行っていると、自分の部屋などにこもり仕事を行うため、結果的に夫婦での時間はさほど取ることはできないということなのかもしれない。

子どもの数とそれにかかわる交互作用も、夫婦関係の変化にも夫婦関係の満足度の変化にも影響を及ぼしていなかった。夫婦関係の満足度の U 字カーブ現象が知られており、その大きな原因は子どもの存在であると言われている。しかし、新型コロナ禍において、子ども存在が、状況をなお悪化させる（U 字を深くさせる）ような効果はなかったと言える

だろう。子どもの世話の量は増えたかもしれないが、それによってコミュニケーションの改善がはかられるなど、マイナス面をプラス面でカバーするといったことがあったのかもしれない。

また、「従業員 30 人以上の経営者・役員」は、夫婦関係の満足度が高くなっていた。このような余裕のある人々のみが、新型コロナ禍にあって夫婦間関係を向上させたということを示唆している。このようなところにもマタイ効果が現れているのかもしれない。。

結局のところ初めに立てた「子どもが少ない（いない）ほど、テレワークをすると夫婦の仲は良くなったが、子どもが多いほど、テレワークをすると夫婦の仲は悪くなった。」という仮説は棄却されたことになる。

現在進行形で社会が新型コロナウイルスの蔓延によって目まぐるしく変化しているが、我々の働き方一つ取ってみても、オフィスワークからテレワークへと少しずつ移行しつつあり、オフィスワークとテレワークの利点を組み合わせた働き方の実現が期待される。そうした変化に我々は、手探りながらもなんとか対応している。今回の調査で従業員 30 人以上の経営者や役員の夫婦関係の満足度は高かったが、それ以外の場合には、夫婦関係の満足度は高くなかった。それを一様に高めていくような方策が求められているのではないだろうか。

引用文献

厚生労働省，2022，「テレワーク総合ポータルサイト」（2022 年 3 月 12 日取得，https://telework.mhlw.go.jp/）.

辻のコメント

積極的に修正に取り組み，交互作用の検討などにも踏み込んだところは評価できる．しかし，残念ながら仮説は棄却され，夫婦のあり方はそんなに簡単なものではないということを思い知らされる結果となってしまった．

分析では，重回帰分析で 1 カ所無用な交互作用を投入してしまったために，多重共線性の問題が生じてしまった．そのまま放置はできないので，辻がその無用な交互作用を取り除いて再分析した結果を掲載した．これにともない，考察についても適宜変更を加えたが，大きな変更ではなかった．

第４章　友人・知人の多寡と新型コロナウイルスの感染

４－１　目的

新型コロナウイルスの感染拡大は、2019 年 12 月初旬に中国の武漢市において第一例目の感染報告から数か月で世界各地にパンデミックを起こすほどに感染拡大が起こった。この新型コロナウイルスは、飛沫感染が主であり一部に接触感染がある。そのため、多くの人が感染拡大を軽減させるべく様々な対策を行わなければならなかった。たとえば、友人・知人と遊びや飲食に出かけたりする行動は抑制された。

ところで、友人・知人が多くいる人と少ない人では、感染確率に違いが出てくる可能性がある。他者との接触を同じ割合で控えたとしても、友人・知人が多い人は、なお接触他者数が多くなるからである。

４－１－１　先行研究と仮説

厚生労働省が行ったアンケートアンケート調査（2020）では、人との接触を避けると回答した人が 92.8%であった。そして、3 密を避けるといった人が 93.8%、外出を避ける人が 79.7%であった。このアンケート結果から、多くの人が感染防止対策を行ってはいるが、対策を行っていない人が少なからずいることがわかる。どのような人が感染防止対策を行っていないのかまではわからないが、仮に友人・知人数の多寡と感染防止対策が独立した事象であるならば、友人・知人が多い人ほど感染しやすいと考えられる。以上を踏まえて下記の仮説を立てた。

仮説：友人・知人数が多い人ほど、新型コロナウイルスに感染した

４－２　方法

従属変数を、回答者本人の感染としたロジスティック回帰分析を行った。独立変数は、電話帳法によって推定された友人・知人数（Freeman and Thompson, 1989; Killworth et al., 1990; 辻・針原，2003）とし、これ以外にデモグラフィック変数を統制した。

４－３　結果

回答者本人が新型コロナウイルスに感染したかどうかを従属変数としたロジスティック回帰分析の結果は、表４－１のとおりである。

派遣社員・契約社員・嘱託社員、従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職、学生・生徒については、該当する人数が少なく、そのカテゴリに感染者がいなかったため、推定値が計算されなかった。

モデル全体が有意ではなく、またどの変数も有意なものはなかった。

表４－１　自己の感染に関するロジスティック回帰分析

	係数	SE
定数	-2.212	2.265
友人・知人数(log)	0.201	0.230
性別（1：女性）	-1.258	0.978
年齢	-0.041	.0317
学歴	-0.258	0.275
2019 年個人年収（対数）	-0.182	0.268
雇用形態（基準：無職）		
従業員 30 人以上の経営者・役員	2.795	1.883
正規雇用・常時雇用	1.076	1.303
臨時雇用・パート・アルバイト	0.287	1.479
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-	-
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-	-
学生・生徒	-	-
都市部	0.644	0.927

χ^2 (12) = 22.88, p < .0065, -2LL = 64.426, N = 666, + p < .10, * p < .05, ** p < .01

４－４　考察

友人・知人が多いからといって、感染しやすいということはなく、仮説は支持されなかった。このことは、友人・知人が多い人は、自分でもそのことを認識しており、友人・知人が少ない人以上に感染対策に取り組んだり、人と会わないようにするなど気を遣っていることが示唆される。

引用文献

厚生労働省，2020,「新型コロナウイルス感染症に係るメンタルヘルスに関する調査結果概要について」厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課 https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/syousai.pdf

Freeman, L. C. and Thompson, C. R., 1989. “Estimating Acquaintanceship Volume.” In M. Kochen ed., *The Small World*, Ablex, 147-158.

Killworth, P. D., Johnsen, E. C., Bernard, H. R., Shelley, G. A., and McCarty, C., 1990, “Estimating the Size of Personal Networks,” *Social Networks*, 12: 289-312.

辻竜平・針原素子，2003,「『小さな世界』における信頼関係と社会秩序」『理論と方法』18(1): 15 - 31.

辻のコメント

分析を HAD で実行しようとすると，仕様のためかエラーとなり分析できなかったので，辻が Stata ver. 17.0 で代行した.

第５章　新型コロナウイルスに関わる情報源と不安の関係

５－１　目的と仮説

2022 年に入り、全世界を混乱に陥れている新型コロナウイルスとの闘いは、早くも 2 年目を迎えている。この 2 年間の歳月の中で、コロナウイルスに対抗するワクチンや薬の開発が活発に行われ、集団接種や職域接種などを通して。全国民にワクチンが行き渡りつつある。調査を実施した 2021 年 11 月 7 日時点でのワクチン接種率は、国立感染症研究所の発表（2021）によると、1 回目の接種を終えている人は全人口の 77.8%、2 回目の接種を終えている人は 73.1%であり、高い水準で推移していると言える。しかし、ワクチンや特効薬の開発が進む一方で、変異株の出現は顕著であり、新型コロナウイルスを完全に克服するには未だ程遠いのが現状である。徐々に 2019 年までの水準に近い生活に戻っていくとしても、人々の新型コロナウイルスに対する恐怖は完全には拭いきれないだろう。

新型コロナウイルスに対する不安にはさまざまなタイプがあると考えられる。感染することに対する不安は言うまでもないが、新型コロナウイルスに感染しなくても、それがもたらす自粛の影響への不安など、さまざまなものが考えられる。昨年度の「社会調査実習 B」（辻，2022）における調査でも、新型コロナウイルスに対する恐怖に関して検討がされている。その分類は大きく変わらないと思われるが、個別の不安に対する度合いは変化しているかもしれない。例えば、自分自身や家族が感染してしまうことへの不安の場合、当時はワクチンなどもなく新型コロナウイルスが未知のウイルスというイメージが強かったため、特に強い不安を抱いていた可能性があるが、現在は、ワクチン開発が進み、医療提供体制も整いつつあるため、感染に対する不安そのものは薄れている可能性がある。一方で、新型コロナウイルスが長期化することで、飲食店などの業種では資金繰りをはじめとして、先行きの見えない状態が続いており、経済的な不安の方が感染への不安よりも大きくなっていることも考えられる。

人々は、新型コロナウイルスに関する情報を日々入手している。その中には、マスメディアが新聞やテレビなどを通して伝える情報、政府や官公庁が発信する情報、SNS やネットメディアで発信される情報など、非常に多様である。

このうち、マスメディアが発信する情報は、感染者数の増加をセンセーショナルに報じるなど、新型コロナウイルスへの恐怖を扇動し、偏った情報を流しているという見方もある。また、マスメディアの視聴は一般に受動的である。川端（2014）は、マスメディアへの接触時間の長い人は、社会不安が高いことを発見した。ここから、マスメディアからの情報に受動的に接する人々は、マスメディアからの情報をそのまま鵜呑みにしたり、センセーショナルな内容から不安を抱きやすくなると考えられる。

政府や官公庁が発信する情報は、客観的かつ中立的であると考えられているため（本当にそうなのかは別問題であるが）、その情報をどう見るかは人それぞれであって、不安を喚起するかどうかは一概には言えないだろう。

SNS やネットメディアからは、情報源が不明な情報や、真偽不明もしくは虚偽の内容を

含む情報が流れていたりする。もちろん、信憑性の高い情報が流れることもある。そのため、SNS やネットメディアの情報の中から「正しい」情報を見極めようとする人もいれば、自分と嗜好が合う情報のみを信じて党派的になることもある。あり、一方で「正しい」情報を求めてさまざまな情報を検索してみるようになると考えられる。このように、SNS やネットメディアに対する反応は多様であることが予想されるので、不安との関連性についても一概には言えないだろう。

このように、どの媒体から情報を得るかによって、新型コロナウイルスに関わるイメージが違ってくる可能性があり、またそれによって生じる不安感にも違いが生じる可能性がある。しかしながら、上で見たように、媒体と不安との関係は特段になさそうだったり、単純な関係ではなさそうなものも多い。ここでは、マスメディアへの接触に関わる仮説だけにとどめたい。

仮説：マスメディアから情報を得ている人ほど、感染に対する不安が高い

５－２　方法

分析にあたり、データの前処理として、新型コロナウイルスに関する情報入手先と入手頻度の主成分分析（バリマックス回転）と、新型コロナウイルスに関する不安・恐怖の因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行った。なお、新型コロナウイルスに関する不安・恐怖のうち 3 項目は因子負荷量が低かったため、それらを取り除いた上で分析を行った。

その上で、先の新型コロナウイルスに関する情報入手先と頻度の主成分分析から得た 3 種類のメディア視聴の主成分を独立変数、新型コロナウイルスに関する不安・恐怖の因子分析から得た 3 つの不安因子のそれぞれを従属変数とする重回帰分析を行った。

統制変数としては、性別、年齢、学歴、結婚（現在）、個人収入（20 年度）、雇用形態（無職を基準）を投入した。

５－３　結果

新型コロナウイルスに関する情報入手先と入手頻度の主成分分析（バリマックス回転）を行ったところ、3 つの主成分（「海外・公的・専門」メディア、「SNS・ネットメディア」、「マスメディア」）を得た。

表５－１　新型コロナウイルスの情報入手先に関する主成分分析（バリマックス回転）

項目	海外・公的・専門	SNS･ネットメディア	マスメディア	共通性
海外の各国政府や国連、各国の公衆衛生部門や世界保健機関、各国の外交部門・大使館等のウェブサイト、それらがソーシャル・メディアで発する情報	**.852**	.233	.022	.782
海外のマスメディアのウェブサイト、海外のマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	**.841**	.217	.065	.759
医師や病院のウェブサイト、医師や病院がソーシャル・メディアで発する情報	**.805**	.353	.020	.674
政府や厚生労働省のウェブサイト、政府や厚生労働省がソーシャル・メディアで発する情報	**.785**	.154	.183	.773
医学誌などの専門誌、医学会・医学誌のウェブサイト、医学会・医学誌がソーシャル・メディアで発する情報	**.762**	.420	.033	.555
都道府県や市区町村のウェブサイト、都道府県や市区町村がソーシャル・メディアで発する情報	**.671**	.070	.315	.758
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で不特定多数の人々が発信した情報	.278	**.751**	-.130	.601
ネットメディア（新聞やテレビではなどのマスメディアではない）のウェブサイト、ネットメディアがソーシャル・メディアで発する情報	.057	**.738**	.231	.659
上記以外の国内のマスメディア（通信社など)、そのマスメディアのウェブサイト、そのマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	.390	**.643**	.213	.610
週刊誌の記事、週刊誌のウェブサイト、週刊誌がソーシャル・メディアで発する情報	.471	**.542**	.220	.565
テレビ放送、テレビのウェブサイト、テレビがソーシャル・メディアで発する情報	-.027	.091	**.852**	.734
新聞の紙面、新聞のウェブサイト、新聞がソーシャル・メディアで発する情報	.305	.143	**.700**	.603
信頼性係数α	.906	.742	**.526**	

続いて、新型コロナウイルスに関する不安の因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行った。その結果、3 つの因子（「忌避不安」、「感染不安」、「社会経済不安」）を得た。

表５－２　新型コロナウイルスの不安に関する因子分析(最尤法,プロマックス回転)

項目	感染周知不安	感染不安	経済不安	共通性
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人からひどい扱いを受けるのではないかと思う	**.917**	-.163	-.040	.700
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人からからひどい扱いを受けるのではないかと思う	**.836**	-.173	.091	.658
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人から避けられるのではないかと思う	**.831**	.093	-.035	.741
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを他人には誰にも知られたくない	**.806**	.129	-.078	.697
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを友人・知人には知られたくない	**.797**	.127	-.090	.672
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人から避けられるのではないかと思う	**.762**	.065	.030	.655
新型コロナウイルスに感染することが怖い	-.012	**.936**	-.071	.795
新型コロナウイルスに感染すれば、重症化したり後遺症が残ってしまうのではないかと思う	.017	**.919**	-.068	.792
新型コロナウイルスに自分が感染したら、他人にうつしてしまうのではないかと思う	-.082	**.806**	.047	.636
新型コロナウイルスの流行が、いつ収束するかわからないのが怖い	.102	**.753**	.050	.701
近い将来、新型コロナウイルスの変異株の中に、現在のワクチンが効かないものが現れるのではないかと思う	.005	**.677**	.176	.630
新型コロナウイルスは、世界経済に大きな損失を与える	-.167	.101	**.891**	.773
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は長期的に回復しない	.057	-.078	**.879**	.748
新型コロナウイルスは、日本経済に大きな損失を与える	-.150	.096	**.846**	.702
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は世界各国に遅れを取ってしまう	.149	-.098	**.724**	.567
新型コロナウイルスは、自分や家族に一時的に大きな経済損失を与える	.324	.073	**.416**	.472
新型コロナウイルスは、自分や家族に長期的な大きな経済損失を与える	.400	.038	**.413**	.526
信頼性係数α	.925	.921	.892	

以上の予備的な分析を基に、3 つの重回帰分析を行った。はじめに、忌避不安に関する結果は、以下のとおりである。

表５－３　忌避不安に関する重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
海外・公的・専門メディア	.022		.094	*
SNS・ネットメディア	.068		.113	**
マスメディア	.102	*	.118	**
性別（1：女性）	.010		.045	
年齢	-.043		-.013	
学歴	-.090	*	-.090	*
婚姻	.023		.044	
2020 年個人年収（対数）	-.087	+	-.065	+
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.043		.042	
正規雇用・常時雇用	.032		.013	
臨時雇用・パート・アルバイト	.001		.023	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.068		-.085	*
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	.013		-.001	
学生・生徒	-.070		-.040	

$F(14, 651) = 2.356$, $p < .01$, $R^2 = .048$, Adj. $R^2 = .028$, N = 666, * $p < .05$, ** $p < .01$

ここから、マスメディアへの接触が多い人や学歴が低い人ほど、忌避不安を感じやすいことがわかる。

次に、感染不安に関する結果は、以下のとおりである。

表５－４　感染不安に関する重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
海外・公的・専門メディア	-.084	+	.008	
SNS・ネットメディア	.013		.046	
マスメディア	.255	**	.221	**
性別（1：女性）	.173	**	.200	**
年齢	-.073		-.002	
学歴	-.059		-.093	*
婚姻	.063		.086	*
2020 年個人年収（対数）	-.001		-.069	+
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.057		.046	
正規雇用・常時雇用	-.054		-.093	*
臨時雇用・パート・アルバイト	.002		.064	+
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.061		-.084	*
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.001		-.023	
学生・生徒	.031		.037	

$F(14, 651) = 6.109$, $p < .001$, $R^2 = .116$, Adj. $R^2 = .097$, N = 666, * $p < .05$, ** $p < .01$

ここから、マスメディアへの接触が多い人や女性ほど、感染不安を感じやすいことがわかる。

次に、社会経済不安に関する結果は、以下のとおりである。

表５－５　社会経済不安に関する重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
海外・公的・専門メディア	-.016		.096	*
SNS・ネットメディア	.072		.137	**
マスメディア	.235	**	.212	**
性別（1：女性）	.063		.114	**
年齢	-.137	**	-.035	
学歴	-.075	+	-.099	*
婚姻	-.002		.025	
2020 年個人年収（対数）	-.052		-.081	*
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.016		.034	
正規雇用・常時雇用	-.088	+	-.074	+
臨時雇用・パート・アルバイト	-.028		.044	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.028		-.021	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.008		-.010	
学生・生徒	-.109	*	-.029	

$F(14, 651) = 4.676$, $p < .001$, $R^2 = .091$, Adj. $R^2 = .072$, $N = 666$, * $p < .05$, ** $p < .01$

ここから、マスメディアへの接触が多い人や若年齢の人ほど、社会経済不安を感じやすいが、学生や生徒は無職の人より社会経済不安を感じないことがわかる。

５－４　考察

3 つの不安について、いずれもマスメディアへの接触が多い人ほど当該不安が高いという結果となった。「マスメディアから情報を得ている人ほど、感染に対する不安が高い」という仮説について、当初は不安の種類を特定していなかったが、いずれの側面においてもマスメディアへの接触が正に有意となっていることから、仮説は支持された。

とりわけ、「感染不安」と「社会経済不安」については、標準化偏回帰係数の値も大きく、マスメディアへの接触と関係が強いことがわかった。毎日の感染者数などは「感染不安」を高め、飲食店や旅行業の経営難の情報などは「社会経済不安」を高めたのだろう。それに比べると、マスメディアが「忌避不安」を直接的に高めるような情報は少なく、そういった内容のバイアスが、それぞれの不安との関係の強さに反映されていると考えられる。

他方、10%水準ではあるが、「海外・公的・専門メディア」への接触は、「感染不安」を緩和する傾向を持っていた。マスメディアからの情報を一方的に受けるのではなく、海外の状況を参照したり、公的・専門的なメディアから客観的な情報を求めようとする人は、感染することを過度に怖がったりすることはなかったのだと考えられる。

「SNS・ネットメディア」については、3 つの不安のいずれについても効果は認められなかった。これは、SNS やネットメディアの情報が個々人の 3 種類の不安に対して何も影響しなかったということではないだろう。最初に見たように SNS やネットメディアに対する反応は多様でありうるから、一方では不安を感じる人もいれば、他方には楽観的になる人もいて、全体としてみれば、効果がないように見えたと解釈できよう。

また、いずれも 10%水準ではあるが、「正規雇用・常時雇用」であるほど、「学歴」が高いほど、「社会経済不安」が緩和された。正規雇用・常時雇用は、他の雇用形態に比べて比較的安定的であることから、社会経済不安を感じにくいと考えられる。また、学歴が高いほど、社会経済的な悪影響を受けないように方策を考えることができるのかもしれない。「学生・生徒」も「社会経済不安」を感じないが、これはまだ社会経験が乏しいことによるのだろう。

引用文献

川端美樹，2014，「メディア接触行動と社会不安：メディア環境の変容による新たな情報探求行動とその影響」『目白大学総合科学研究』10: 63 - 71.

国立感染症研究所，2021，「新型コロナワクチンについて（2021 年 11 月 7 日現在）」2022 年 3 月 8 日閲覧.
(https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/63/covid19_vaccine_20211107.pdf)

辻竜平編，2022，『新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査　2020 年度「社会調査実習 B」報告書』近畿大学総合社会学部.

辻のコメント

仮説において，どちらが従属変数でどちらが独立変数とすべきなのかについて，最終段階まで混乱が見られたので，混乱があからさまにならないように辻が修正した．また，これにともなって，タイトルも混乱のないように変更した．

また，他にも統制すべき変数を指示したりしていたが，それに関する記述も考察もなかったので，それを落として再分析した結果を掲載することとした．それにともなって有意になる（ならない）変数の変更が若干あり，それについて記述を修正した．

考察は自由でよいとはいえ，かなり場当たり的な解釈がなされていたので，大幅に修正した．

第６章　新型コロナウイルスに関わる不安情報の拡散

６－１　目的

2019 年 12 月、新型コロナウイルスが中国・武漢市においてはじめてから 2 年以上が経過した。その間に、緊急事態宣言の発令・ワクチン接種の呼びかけ・変異ウイルスの発見など様々な出来事が発生した。一方で、SNS 上などでは新型コロナウイルスワクチンが異例のスピードで開発されたことに対して「新型コロナ禍以前からワクチンの計画が行われていた」といった情報や、「ワクチンを打つと不妊になる」など根拠のない憶測・デマについても耳にする機会があった。

長期化している新型コロナ禍において、政府や厚生労働省などの公的機関から流れる「正確な情報」と SNS 上において流布している根拠のない「憶測」・「デマ」が混在し、正しい情報を得ることが難しい状況にあったことが考えられる。また、正否が分からない情報が混在する状況では日常会話においても正確な情報を他者に伝えることが難しい状況にあったと考えられる。そこで本章では新型コロナ禍において人々がどのように情報を他者に伝えようとしていたかについて検討する。

三浦（2020）は非常事態の人々の行動について、二重過程理論を紹介している。それによると、人間には直感型の思考モードと、論理型の思考モードの両方が備わっている。直感型思考モードは判断が速いが、その分大まかで、時に「拙速」と言われるものである。一方の論理型の思考モードは決定までに時間を要するが、比較的精緻なものである。高緊張・高不安状態では論理型思考が不足する。そのため、新型コロナ禍を初めとする事故や災害時においては、決して適切とは言えない行動をする人が少なからず見受けられる。

以上のことから、新型コロナ禍という非常事態が論理型の思考モードが極端に不足し、不安を喚起するような情報の場合、それが根拠のあるものだろうが、そうではないものだろうが、その情報を拡散しようとすると考えた。そのため以下のような仮説を立てた。

仮説：新型コロナ禍では不安を強く喚起する情報であるほど拡散されやすい。

６－２　方法

まず、新型コロナウイルスへの不安感について知る必要があるため、新型コロナウイルスに関連することがらに対して「どのくらい不安を感じますか」として 8 項目を問い、その不安度を 4 段階尺度で尋ねた。加えて、それらの 8 項目について「他の人に伝えたり話をしたりしたいと思いますか」として、意思・行動を「伝えたり話したりしたい」、「少し伝えたり話したりしたい」、「あまり伝えたり話したくない」、「伝えたり話したりしたくない」の 4 段階の尺度で尋ねた。これらの不安感と意思・行動についてそれぞれ因子分析を行い、意思・行動に関わる因子を目的変数、不安感に関わる因子を説明変数、デモグラフィック変数を統制変数とした重回帰分析を行うことにする。

６－３　結果

「新型コロナウイルスに対してどのくらい不安を感じているか」(Q34)、不安に感じたことを「他の人に伝えたり話をしたりするか」(Q35) について、それぞれの共通因子を用いて重回帰分析を行いたいため、因子分析を行った（最尤法・プロマックス回転)。

表６－１　新型コロナウイルスに関連する不安の因子分析（最尤法・プロマックス回転）

項目	社会的不安	個人的不安
世界各地で感染がなお収まらないこと	**.912**	-.129
家族が感染すると、生活のさまざまな側面に支障が出ること	**.780**	.004
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	**.736**	.018
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	**.676**	.049
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	.365	.331
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	-.018	**.718**
海外への旅行や出張ができないこと	-.097	**.497**
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	.147	**.492**
因子間相関	1.000	**.591**
		1.000
因子寄与率(%)	38.4	26.5
信頼性係数α	.843	.573

はじめに新型コロナウイルスに対する不安 8 項目について因子分析を行ったところ、上記のとおり「社会的不安」と「個人的不安」の 2 つの因子を得た。「別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること」という項目については、2 つの因子のいずれについても因子負荷量が小さく、また 2 つの因子にほぼ等分に負荷している。これについては、次の情報伝達の意思・行動においても同じ項目を使っているため、整合性のため、このまま第 1 因子（社会的不安）に関わる項目として残しておくことにした。なお、この項目については、社会的な側面と個人的な側面があることから、このような因子負荷のパターンを示すことは理解できる。

表６－２　新型コロナウイルスに関連する事象の伝達意思・行動に関わる因子分析（最尤法）

項目	情報伝達 意思・行動
世界各地で感染がなお収まらないこと	**.868**
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	**.858**
家族が感染すると、生活の様々な側面に支障が出ること	**.833**
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	**.811**
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	**.796**
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	**.764**
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	**.741**
海外への旅行や出張ができないこと	**.627**
因子寄与率(%)	62.5
信頼性係数α	.928

上と同じ８項目について、「他の人に伝えたり話をしたりしたいと思いますか」と情報伝達の意思と行動について問うたものを因子分析したところ、1 因子を得た。情報によって、伝達意思と行動について違いはないことを示している。したがって、この因子負荷量の順に、人々が伝達したいと思うこと、情報を拡散したいと思うことを示していると解釈できる。

以上の因子分析から得た結果をもとに、「社会的不安」と「個人的不安」を独立変数、「情報の拡散」を従属変数とする重回帰分析を行った。その結果が以下のとおりである。

表６－３　新型コロナウイルスに関連する事象の伝達意思・行動に関わる重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
社会的不安	.225	**	.408	**
個人的不安	.359	**	.468	**
性別（1：女性）	.071	+	.121	**
年齢	.059		-.021	
学歴	-.042		-.047	
2021 年世帯収入の見込（log）	-.017		-.020	
雇用形態（基準：無職）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.043		.036	
正規雇用・常時雇用	.067		.012	
臨時雇用・パート・アルバイト	.004		-.001	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.019		-.042	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.016		-.045	
学生・生徒	.099	*	.079	*

$F(12, 653) = 21.301$, $p < .001$, $R^2 = .281$, Adj. $R^2 = .268$,

$N = 666$, + $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$

６－４　考察

上記の結果から「社会的不安」・「個人的不安」のどちらも正に有意であり、仮説は支持された。また、「社会的不安」よりも「個人的不安」の方が「伝達意思・行動」に対して強い効果を持っていることが分かった。これは新型コロナ禍において、メディア等で伝えられる社会的影響に関わる情報以上に、個人的に被っている影響に関わる情報について伝達しようとすることがわかる。人々は新型コロナ禍において、様々な生活様式を変更せざる負えない状況となり、今までのように気軽に外出することも難しくなった。特にワクチン接種の有無などは重要視されるようになり、接種を行っていない場合は差別される事例もあった。また、海外への出張の減少やオンラインでの仕事・講義は多くの人が不便に思った事であろう。このような日常的に感じるストレスについての会話がなされていたことが考えられる。

また、「学生・生徒」が正に有意であった。学生・生徒が他の層に比べてしがらみがなく、比較的自由に情報を拡散している様子がうかがえる。

引用文献

三浦麻子，2020,「非常事態における人間の意思決定プロセスと態度・行動」『国民生活研究』60(2): 1 - 15.

辻のコメント

因子分析において，よくわからない理由で因子抽出法を選択していた．辻が最尤法・プロ

マックス回転で分析を行ったところ，因子負荷量の扱いに注意を要するケースが見受けられたが，異常値というようなものではないので，よく検討して最尤法の結果を掲載することとした．結果的には，因子の分かれ方については違いはなかった．尺度得点を用いる限り，それ以降の分析に違いは見られないはずである．

しかしながら，重回帰分析の結果は，辻が計算したものと標準化偏回帰係数の値に若干のズレがあった．もしかすると，結局のところ，不安に関する因子分析で省かなかったはずの項目を，実際には省いたりしているのではないだろうか．ともあれ，重回帰分析の結果を修正した．

重回帰分析の解釈において，「社会的不安」よりも「個人的不安」の方が相関関係が強いと書かれていたが，重要なのは単相関ではなく偏回帰係数である．偏回帰係数に言及しているつもりであれば，相関関係と書くのはミスリーディングである．

考察は比較的修正が少ない方であった．ただし，冒頭部に書かれているようなデマの拡散といった点については，因子分析で，特にデマに関わるような因子が抽出されなかったこともあり，冒頭部と考察部，そしてタイトルが若干の不整合を起こしているのは残念である．これを修正するには，冒頭部の文章を全面的に書き直す必要があるだろう．

第７章　楽観主義・悲観主義が新型コロナウイルスのワクチン接種に及ぼす影響

７－１　目的

新型コロナウイルスの流行と同時にワクチン開発がアメリカを中心に進められてきた。国内でもワクチン導入が早急の課題とされ、2021 年 4 月 12 日より接種が開始となった。新型コロナウイルスワクチン導入当初から、ワクチン接種に関わるさまざまな意見があった。ワクチンは将来的に接種者の身体に影響を及ぼすため打たないほうがよいという意見や、十分な予防効果が得られるため接種すべきという意見などさまざま賛否も分かれた。そこで本書では、ワクチン接種をしようとしない人がどのような傾向にあるのか、また人々がワクチンのどのような部分に不安を感じているのかを検討する。

ワクチンを接種するかどうかや、ワクチンのどのような側面に不安を感じているのかについては、人々がインターネットや SNS、ニュースや新聞などのさまざまな場所から得られた情報をどう捉えたかによって変わってくるものである。不安とひとくくりに言っても、ワクチンを接種することによって生じる、発熱や腕の痛みなどの副反応に対する不安もあれば、ワクチンの品質に対する不安や、接種しないことで非難や差別を受けるのではないかという不安などさまざまである。そこで、不安の中身を明らかにしたうえで、それらが楽観性及び悲観性とどのように関係しているのかについて検討したい。

楽観性・悲観性を用いるにあたって定義を記しておく。楽観性とは「ポジティブな結果を期待する傾向」であり、悲観性とは「ネガティブな結果を期待する傾向」（Scheier & Carver, 1985）とされている。また、楽観性と悲観性は、1 次元上の両極に位置する対立概念として扱うのではなく、それぞれが異なる意味と役割を持つ概念として扱う。これらを踏まえていくつかの仮説を立てる。悲観的な人はワクチンに対するマイナス面の情報を、プラス面の情報よりも重く受け止めてしまうのではないかと考え、それに伴いワクチンに対する不安も大きくなるのではないかと予想する。また、楽観的な人は、マイナス面の情報をさほど気にしない傾向にあり、ワクチンに対する不安も小さくなるのではないかと予想する。以上より、次のような仮説を立てた。

仮説 1：楽観主義であるほどワクチンに対する不安が小さい
仮説 2：悲観主義であるほどワクチンに対する不安が大きい
仮説 3：楽観主義であるほどワクチンを接種する
仮説 4：悲観主義であるほどワクチンを接種しない

７－２　方法

仮説検証のために、次のような事前の準備を行う。まず、「ワクチンの接種回数」から「ワクチン接種の有無」というバイナリ型変数を作成する。また、ワクチンに関する（科学的に不確かなものも含めた）意見と、簡易版楽観・悲観主義尺度について因子分析（最尤法・プ

ロマックス回転）を行う。後に行うロジスティック回帰分析または重回帰分析では、その尺度得点を使用する。

「ワクチン接種の有無」の分布は、下記のとおりであった。

表７－１「ワクチン接種の有無」に関する単純集計結果

出現値	度数	確率(%)
接種無	97	14.56
接種済	569	85.44
欠損値	0	0.00
合計	666	100.00

ワクチンに関する意見全 18 項目[1]について因子分析（最尤法・プロマックス回転）を行ったところ、因子負荷量の低い（＜0.4）ものが 4 項目（Q33-4.14,17,18）あったのでこれを削除し、再度因子分析を行った結果が以下のとおりである。4 つの因子は、それぞれ積極接種、副反応不安、科学不信、メディア不安と名付けた。なお、重回帰分析を行う際には、尺度得点を利用する。

[1] 調査票には全部で 20 項目あったが、そのうち 2 項目は、データ取得時の設定がうまくいっておらず全データが欠損してしまっていたため、実際に分析可能なのは 18 項目である。

表７－２　ワクチンに関わる意見についての因子分析（最尤法・プロマックス回転）

項目	積極接種	副反応不安	科学不信	メディア不安
安心して外出したいので、ワクチンを打ちたいと思った（思う）	**.908**	.055	-.164	.285
ワクチンの接種証明によって、活動の種類や範囲を広げたいと思った（思う）	**.798**	.056	.019	.347
ワクチンを打つことで、自分が他の人に感染させる可能性を減らせると思った（思う）	**.781**	.134	-.161	.201
日常生活や仕事などで対人接触が多いので、ワクチンを打った方がよいと思った（思う）	**.647**	.098	.029	.261
ワクチンには、感染や症状の重症化を抑える効果があることが十分に示されていると思った（思う）	**.528**	.168	-.067	.210
副反応が重篤化してしまう可能性が、わずかであっても存在することが怖かった（怖い）	.069	**.939**	.319	.231
発熱や腕の痛みなどが出る可能性があるのが怖かった（怖い）	.138	**.824**	.231	.268
ワクチンに異物が混入していたという報道を見て怖かった（怖い）	.158	**.591**	.370	.172
ワクチンを打つと、自分の遺伝子が変わってしまうことになると思った（思う）	-.098	.259	**.848**	.265
ワクチンを打つことは、自然の摂理に反することだと思った（思う）	-.046	.284	**.800**	.265
基礎疾患があるので接種したくなかった（したくない）	-.078	.230	**.494**	.176
マスメディアでは、ワクチンは危険だという報道が多いと思った（思う）	.339	.235	.281	**.971**
インターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）では、ワクチンは危険だという言説が多いと思った（思う）	.267	.240	.287	**.683**
因子間相関	1.000	.128	-.087	.349
		1.000	.335	.264
			1.000	.317
				1.000
因子寄与率(%)	23.2	17.6	16.3	16.1
信頼性係数α	.850	.819	.742	.795

こうして得られたワクチンに関する意見の 4 因子をそれぞれ目的変数とし、楽観主義と悲観主義を説明変数とした重回帰分析を行う。楽観主義と悲観主義については、既存の尺度を用いる。次に、「ワクチン接種の有無」を目的変数としたロジスティック回帰分析を行う。

７－３　結果

4 因子に関わる重回帰分析と、ワクチン接種の有無にかかわるロジスティック回帰分析の結果は下記のとおりである。

表７－３　積極接種に関わる重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
楽観主義	.207	**	.207	**
悲観主義	.082	+	-.011	
性別（1：女性）	.103	*	.082	*
年齢	.129	**	.058	
学歴	-.064		-.050	
2020 年個人年収（対数）	.040		.066	+
雇用形態（基準：正規雇用・常時雇用）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.021		.041	
臨時雇用・パート・アルバイト	-.072		-.002	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.070	+	-.047	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.062		-.033	
無職・家事	-.128	*	-.032	
学生・生徒	.023		.007	

$F(12, 653) = 4.368$, $p < .000$, $R^2 = .074$, Adj. $R^2 = .057$,
N = 666, + p < .10, * p < .05, ** p < .01

「積極接種」について、楽観主義が正に有意、悲観主義も 10%水準ながら正に有意傾向が見られた。

表７－４　副反応不安に関わる重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
楽観主義	.167	**	.082	*
悲観主義	.237	**	.238	**
性別（1：女性）	.173	**	.243	**
年齢	-.182	**	-.212	**
学歴	-.109	**	-.166	**
2020 年個人年収（対数）	-.017		-.167	**
雇用形態（基準：正規雇用・常時雇用）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.017		.006	
臨時雇用・パート・アルバイト	.033		.047	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	.039		-.029	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	.028		-.054	
無職・家事	.120	*	.065	+
学生・生徒	.008		.086	*

$F(12, 653) = 11.900$, $p < .000$, $R^2 = .179$, Adj. $R^2 = .164$,
N = 666, + p < .10, * p < .05, ** p < .01

「副反応不安」について、楽観主義と悲観主義は、ともに正に有意であった。

表７－５　科学不信に関わる重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
楽観主義	.155	**	.084	*
悲観主義	.146	**	.121	**
性別（1：女性）	-.063		-.042	
年齢	-.066		-.083	*
学歴	-.085	*	-.071	+
2020 年個人年収（対数）	-.094	*	-.004	
雇用形態（基準：正規雇用・常時雇用）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.056		.088	*
臨時雇用・パート・アルバイト	-.101	*	-.020	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.037		-.002	
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-.044		-.011	
無職・家事	-.136	*	-.073	+
学生・生徒	-.197	**	-.082	*

$F(12, 653) = 4.653$, $p < .000$, $R^2 = .079$, Adj. $R^2 = .062$,
$N = 666$, + $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$

「科学不信」について、楽観主義と悲観主義は、ともに正に有意であった。

表７－６　メディア不安に関わる重回帰分析

変数名	標準化偏回帰係数		単相関	
楽観主義	.202	**	.169	**
悲観主義	.138	**	.087	*
性別（1：女性）	.102	*	.095	*
年齢	-.048		-.071	+
学歴	-.102	**	-.089	*
2020 年個人年収（対数）	.049		.058	
雇用形態（基準：正規雇用・常時雇用）				
従業員 30 人以上の経営者・役員	.041		.070	+
臨時雇用・パート・アルバイト	-.064		.023	
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-.095	*	-.083	*
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	.004		.018	
無職・家事	-.104	+	-.065	+
学生・生徒	-.099	*	-.043	

$F(12, 653) = 5.495$, $p < .000$, $R^2 = .092$, Adj. $R^2 = .075$,
$N = 666$, + $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$

「メディア不安」について、楽観主義と悲観主義は、ともに正に有意であった。

表７－７　ワクチン接種の有無に関するロジスティック回帰分析

変数名	係数		標準誤差
定数	2.212	*	1.117
楽観主義	0.168		0.158
悲観主義	0.138		0.159
性別（1：女性）	0.801	**	0.254
年齢	0.045	**	0.008
学歴	0.100		0.080
2020 年個人年収（対数）	0.009		0.094
雇用形態（基準：正規雇用・常時雇用）			
従業員 30 人以上の経営者・役員	0.208		1.143
臨時雇用・パート・アルバイト	-0.518		0.398
派遣社員・契約社員・嘱託社員	-0.980	*	0.461
従業員 30 人未満の経営者・自由業種・家族従業者・自由業者・内職	-0.906	+	0.493
無職・家事	-1.052	**	0.385
学生・生徒	0.694		0.603

χ^2 (12) = 46.119, p < .000, -2LL = 510.043,
N = 666, + p < .10, * p < .05, ** p < .01

「ワクチン接種」について、「楽観主義」も「悲観主義」も、ともに有意ではなかった。

６－４　考察

まず、「楽観主義」と「悲観主義」が別々の尺度で測定されたものであり、同じ構成概念の表裏の別側面ではないことに注意しておく。「積極接種」に関わる重回帰分析では、楽観主義が有意、悲観主義が 10%水準ではあるが有意傾向であった。楽観主義の人は、基本的にワクチンが自分自身や社会全体を感染から守ってくれるものと気楽に考えていたのだろう。一方、悲観主義の人も、ワクチンを接種しないことによってコロナウイルスに感染しやすい状態であり続けるという悲観的な事態から解放されるために、積極的に接種しようと考えるのだろう。「副反応不安」、「科学不信」、「メディア不安」に関わる重回帰分析では、楽観主義も悲観主義もどちらも正に有意な値をとっている。悲観主義の人がさまざまな不安を持つのは当然としても、楽観主義の人もさまざまな不安を持っている。楽観主義尺度の項目を確認してみると、「自分の将来は、良いことが起こると思う」、「将来、幸せになれると思う」、「自分の将来は、恵まれていると思う」という 3 項目だが、これは楽観主義とも取れるが、他方で無思慮であるからこそ、これらの項目に肯定的に回答できるとも考えられる。これが無思慮を表すとすると、そういった無思慮な人々が、「ワクチン接種によって重篤な副反応が生じる恐れがある」という不安を煽るような情報に接すると、その情報を精査するようなことはせず、ただ不安を抱いてしまうという解釈は十分にありそうである。以上より、仮説 1「楽観主義であるほどワクチンに対する不安が小さい」は棄却され、仮説 2「悲観主義であるほどワクチンに対する不安が大きい」は支持された。

ワクチン接種の有無に関するロジスティック回帰分析より、楽観主義・悲観主義どちらも

有意ではなかった。よって仮説 3「楽観主義であるほどワクチンを接種する」と仮説 4「悲観主義であるほどワクチンを接種しない」はともに棄却された。楽観主義の人と悲観主義の人は、ワクチン接種についてともにさまざまな不安を抱き、それがワクチン接種に向かわせるが、不安が強くない人々も、冷静に考えてワクチンを接種しようとしたのだと考えられる。その結果として楽観主義も悲観主義もワクチン接種に対して効果を持たなかったものと考えられる。

引用文献

Scheier, M. F. and Carver, C. S., 1985, “Optimism, Coping and Health Assessment and Implications of Generalized Outcome Expectancies,” Health Psychology, 4(3): 219 - 247.

辻のコメント

なぜ楽観性と悲観性に着目するのかについて，全く書けていない．直感的に何か関連がありそうだからという以上に理由があるのかどうか分からない．

仮説構築に当たっても，ワクチン接種のポジティブな側面とネガティブな側面というものが単純かつ区別可能な形で存在していると想定しているところがあるようで，それが結果的に敗因となっている．考察部ではそういった点にある程度触れているのでよしとするが，仮設構築段階で（調査を実施する以前に），もう少しいろいろと考えてみてほしかった．少なくとも，そんなに単純ではないことくらいは，想像できたのではないかと思う．

ワクチン接種に関わる意見の因子分析の因子の命名について、「危険発信」としていたものは、自ら発信するような行動を意味するものではなく、マスメディアや SNS ではワクチン危険であるという言説が多いという認識を尋ねたものであるから、「メディア不安」とした。また、「身体影響不安」としていたものも、因子負荷量が高い項目を見ると、「科学不信」と呼びうるような信念を測定しているものと捉える方が適切と思われた。「推奨」も何を推奨しているのかわからないので、「積極接種」とした。

因子分析の結果が、どういうわけか微妙にずれており、辻が分析をやり直した。因子の構成自体に違いはなかったが、辻がやり直したものを掲載している。

考察部での楽観主義に関する考察は、あまりなかったので、辻が全面的にてこ入れした。

第８章　ワクチン接種に対する不安と接種行動

８－１　目的と仮説

2021 年 11 月現在、新型コロナウイルスの第 5 波は収まりつつあるが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにワクチン接種が進められている。すでにワクチンの第 1 回目の接種率は 70%を超えたが、ワクチンの接種について、人々はさまざまな不安を持っていると思われる。

まず、副反応が重篤化してしまう可能性があるかもしれないことに対する不安や、発熱や腕の痛みなど副作用に対する不安がある。ワクチンに異物が混入していたという報道もあったことから、品質管理に関わる不安もある。また、マスメディアやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）がワクチンの危険性を流布することによって生じる不安がある。

一方、積極的にワクチンを打った方がよいと思った人もいる。彼らは、安心して外出するために、あるいは、他の人に感染させたりさせられたりする可能性を減らしたいと考え、積極的に接種しようとしたのである。また、ワクチンに感染や発症を予防する効果があると十分に示されていると納得している人々も、ワクチン接種に積極的だと考えられる。そこで、人々の１回目を接種する直前の心理的状態によって、ワクチン接種をするかしないかを決定すると考え、その心理的状態がどのようなものかについて検討する。

工藤・後藤・柿原・吉田・榎本・森・河野・堤（2021）は、以下のことを示した。すなわち、「自他の命と健康を守れる」、「費用負担の容認」、「安全性への信頼」という 3 つの因子は、労働者の新型コロナワクチン接種動機づけを高めた。また、女性は、男性より新型コロナワクチン接種動機づけが低かった。その理由として考えられるのは、村澤・大久保・今野・荒川（2015）が示したように、女性は子宮頸がんワクチンの副反応への懸念があるからである。そのような懸念を持っている女性は、新型コロナワクチンへの接種を控えたいと考えたのではないだろうか。

今回はワクチンを接種していない人には調査時点の、ワクチンを接種した人には 1 回目の接種直前の様子を思い出してもらい、安全性と副反応に関する不安が強いとワクチンを接種しないことを、不安と性別の交互作用効果も含めて検証することを目的とした。
以上をふまえて、次のような仮説を立てた。

仮説 1：安全性と副反応に関する不安が強いほど、ワクチンを接種しない
仮説 2：仮説 1 で示した効果は、女性の方が効果が大きい

８－２　方法

まず、新型コロナウイルスワクチン接種する前の心理状態（未接種の人は、調査時点での心理状態）を因子分析にして、ワクチンに対して、どのような態度があるのか調べてまとめる。また、新型コロナウイルスのワクチンの接種回数をもとに、接種していない人を 0、接種した人を 1 とする「ワクチン接種の有無」というダミー変数を作った。それから、接種の

有無を目的変数としたロジスティック回帰分析（名義）を行う。また、性別と安全性や副反応因子の交互作用も投入する。

８－３　結果

ワクチン接種直前（接種していない人には調査時点）の心理状態（Q33）に関わる因子分析（最尤法、固有値 1 以上、プロマックス回転）を行った。全 18 項目のうち因子負荷量が低かった 5 項目を削除し、13 項目を用いて因子分析をしたところ、「基礎疾患があるので接種したくなかった」という項目が第 4 因子に含まれていた。しかし、その因子負荷量は比較的低く、これを除くと「科学不信」という意味の因子として解釈が容易になるため、これを削除し、12 項目を用いて因子分析を行った。その結果が、下の表８－１である。

表８－１　新型コロナウイルスのワクチン接種に関わる態度の因子分析（最尤法、プロマックス回転）

項目	積極接種	安全性・副反応不安	メディア不安	科学不信
安心して外出したいので、ワクチンを打ちたい	**.906**	-.038	.003	-.069
ワクチンを接種証明によって、活動の種類や範囲をひろげたいと思った	**.795**	-.093	.065	.100
ワクチンを打つことでじぶんが他の人に感染させる可能性を減らせると思った	**.786**	.082	-.064	-.095
日常生活や仕事などで対人接触が多いので、ワクチンを打った方がよいと思った	**.655**	-.017	.007	.097
ワクチンには、感染や症状の重症化を抑える効果があることが十分に示されていると思った	**.497**	.123	.029	-.081
副反応が重篤化してしまう可能性がわずかであっても存在することが怖かった	-.053	**.947**	.003	-.014
発熱や腕の痛みなどがでる可能性があるのが怖かった	.002	**.832**	.070	-.078
ワクチンに異物が混入していたという報道を見て怖かった	.138	**.525**	-.086	.236
マスメディアでは、ワクチンを危険だという報道が多いと思った	-.009	-.019	**.997**	-.029
インターネット上のソーシャルネットワーキングサービスでは、ワクチンは危険だという報道が多いと思った	.048	.046	**.626**	.073
ワクチンをうつことは、自然の摂理に反することだと思った	.010	.027	.001	**.819**
ワクチンをうつと自分の遺伝子が変わってしまうことになると思った	-.053	.007	.032	**.803**
因子間相関	1.000	.125	.347	-.077
		1.000	.266	.322
			1.000	.310
				1.000
因子寄与率(%)	25.1	18.7	17.3	15.2
信頼性係数α	.850	.819	.795	.807

次に、ワクチン接種の有無を目的変数とし、新型コロナウイルスワクチンに関わる 4 つの意見を説明変数とするロジスティック回帰分析を行った。その結果は、下記のとおりである。

表８－２　新型コロナウイルスのワクチン接種の有無にかかわるロジスティック回帰分析

変数名	係数		標準誤差
定数	-2.888	**	0.223
性別（1：女性）	1.243	**	0.425
年齢	0.023	*	0.009
学歴	0.196	+	0.100
2019 年個人年収（対数）	-0.078		0.093
職業（基準：無職・家事，学生・生徒）			
農林漁業	10.340	**	1.233
技能・労務・作業系，販売・サービス系，事務	0.322		0.315
管理	0.455		0.643
専門	-0.365		0.896
積極接種	1.779	**	0.191
安全性・副反応不安	-0.945	**	0.182
メディア不安	0.222		0.164
科学不信	-0.509	**	0.153
積極接種×性別	0.186		0.397
副反応不安×性別	0.135		0.376
メディア不安×性別	0.045		0.321
科学不信×性別	-0.589	*	0.294

χ^2 (16) = 296.839, p < .000, -2LL = 339.849,
N = 666, + p < .10, * p < .05, ** p < .01

「ワクチン接種の有無」について、「性別」では女性の方が接種すること、「積極接種」が正に、「安全性・副反応不安」と「科学不信」が負に効果があることが分かった。また、ワクチン接種の態度と性別との交互作用項の効果については、「科学不信×性別」に負の効果が見られた。

８－４　考察

これらの結果から、2 つの仮説「安全性と副反応に関する不安が強いほど、ワクチンを接種しない」（仮説 1）と「仮説 1 で示した効果は、女性の方が効果が大きい」（仮説 2）について考察する。まず、主効果から検討する。係数からみると、「積極接種」と「性別（女性）」がワクチン接種に対してそれぞれ有意に正の影響を持っていることと、「安全性・副作用不安」と「科学不信」がそれぞれ有意に負の影響を持っていることがわかった。ここから、仮説 1 は支持されたと言える。

次に、交互作用項では、「科学不信」と「性別（女性）」の交互作用が、有意に負の影響を持っていることがわかった。つまり、女性が科学不信を抱くほど、男性よりもさらにワクチン接種を控えるだろう。しかし、「性別（女性）」と「安全性と副作用の不安」の交互作用は

有意ではなかった。つまり、女性が、安全性と副反応に関する不安を抱くほど、ワクチンを男性よりも接種したとは言えないことがわかった。ここから、仮説 2 は支持されなかった。

まとめると、「安全性と副反応に関する不安」はワクチン接種に対して負の主効果を持っていたが、「女性と安全性と副反応」と「性別（女性）」にかかわる交互作用は、ワクチン接種に対して有意な効果を持たなかった。よって、「安全性と副反応に関する不安が強いほど、ワクチンを接種しない」が、性別による効果の大きさに違いはなかった。

引用文献

工藤安史・後藤由紀・柿原加代子・吉田和枝・榎本喜彦・森智子・河野啓子・堤明純，2021，「我が国の労働者の新型コロナワクチンに対する意識と新型コロナワクチンを接種する動機づけとの関連性」,『労働安全衛生研究』14(2):129-139.

村澤秀樹・大久保一郎・今野良・荒川一郎,2015,「女子看護学生の子宮頸がん予防に関する意識調査-ワクチンの副反応 報告を受けて-」,『厚生の指標 2015』62:13-17.

辻のコメント

因子分析では，デフォルトの設定では収束せず，オプションの最大反復数を増やしてやる必要があった．そのため，因子分析の値にごくわずかだが違いがある．そこで，辻が得た結果に差し替えた．それ以降は尺度得点を使っているので用いる値に違いはないはずである．ところが，ロジスティック回帰分析の値が，辻の計算結果と若干違いがあった．理由はよく分からなかったので，辻の得た結果を掲載した．

付録

（付録１）

新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査

開始

Q1

はじめに

この調査は、新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる**学術調査**です。
皆様のご協力をお願いします。質問数がやや多く、人によって違いますが、およそ30～50分くらいかかりますので、時間に余裕がある方の回答をお願いします。対象年齢は、高校生以上、74歳までです。
本調査をもとに学術論文の執筆や報告書の作成を行う予定ですが、個人のお名前や病歴などの個人情報が公表されることはありませんので、安心してご回答ください。

本調査にご協力いただけるようでしたら、「問題に進む」を、ここでやめようと思われた方は、「この調査には回答しない」を選んでください。

○ 問題に進む
○ この調査には回答しない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

条件確認

Q2

あなたの性別をお聞かせください。

○ 男
○ 女

Q3

あなたがお住まいの都道府県を教えてください。

北海道

Q4

あなたの年齢を教えてください。

14歳以下

ページ区切り

Q5

この質問を表示

条件　あなたの年齢を教えてください。　15歳　選択されている

あなたは中学生ですか、高校生ですか。

○ 中学生
○ 高校生

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

仕事

Q6

あなたの現在のお仕事についてうかがいます。
複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。
学校に通われている方は、アルバイトなどをされている場合でも、「学生・生徒」を選んでください。

- ○ 従業員30人以上の経営者・役員
- ○ 正規雇用（公務員を含む）・常時雇用の一般従業員
- ○ 臨時雇用・パート・アルバイト
- ○ 派遣社員・契約社員・嘱託社員
- ○ 従業員30人未満の経営者・自営業主（農業を含む）・家族従業者・自由業者・内職
- ○ 無職・家事
- ○ 学生・生徒

Q7

この質問を表示

条件 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 学生・生徒 選択されていない

および あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

あなたはどのような仕事をしていますか。

- ○ 農林漁業職（植木職、造園業を含む）
- ○ 技能・労務・作業系の職業（工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業者、運転手など）
- ○ 販売・サービス系の職業（店主、店員、営業社員、美容師、クリーニング、給仕、接客、清掃、ヘルパーなど）
- ○ 事務的職業（事務員、銀行員など）
- ○ 管理的職業（課長相当以上の管理職、議員など）
- ○ 専門的職業（医師、弁護士、教員、エンジニア、プログラマー、看護師、介護士、作家、デザイナー、編集者など）

Q8

この質問を表示

条件 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 学生・生徒 選択されていない

および あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

あなたの仕事は、次のようなものに当てはまりますか。当てはまる場合にはチェックを入れてください。当てはまるものがない場合には、最後の「当てはまるものはない」にチェックを入れてください。

- ○ 医療・看護従事者
- ○ 福祉・介護従事者
- ○ 接待を伴う飲食店の従事者
- ○ 接待を伴わない飲食店の従事者
- ○ 対面的接触が多い店員や販売員
- ○ 理容・美容・エステなど身体接触のある職業の従事者
- ○ 公共交通機関（タクシーを含む）や宅配業務の従事者
- ○ 外回りの営業員
- ○ 流れ作業を伴う工場での従業員
- ○ 当てはまるものはない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

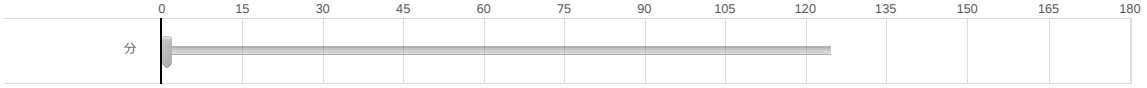
通勤・通学，居住地

Q9

この質問を表示

条件 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

現在、通勤・通学時間は片道何分くらいですか。
自宅でお仕事をされている方は「0」とお答えください。
テレワークと職場での仕事が両方ある場合は、職場までの時間をお答えください。
180分以上の方は、「180」とお答えください。



Q10

この質問を表示

条件 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

あなたのふだんの通勤・通学のための交通手段について教えて下さい。次のうち当てはまるもの全てを選んでください。

自宅でお仕事をされている方は「通勤・通学していない」とお答えください。
テレワークと職場での仕事が両方ある場合は、職場に行くまでの交通手段をお答えください。

- [ ] 公共交通機関（電車・バス）
- [ ] タクシー
- [ ] 自家用車・社用車
- [ ] その他の乗り物（具体的に）
- [ ] 自宅から駅・停留所・駐車場までの 10分以上の徒歩・自転車・バイク
- [ ] 駅・停留所・駐車場から職場までの 10分以上の徒歩・自転車・バイク
- [ ] 徒歩のみ
- [ ] 自宅勤務、通勤・通学していない

Q11

あなたが住んでいるところは、どのようなところですか。最も当てはまると思うところを選んでください。

- ○ 大都市の中心部
- ○ 大都市の郊外
- ○ 中小都市の中心部
- ○ 中小都市の郊外
- ○ 農村・漁村、田舎

ライブラリからインポート　新しい質問を追加

ブロックを追加

婚姻

Q12

あなたは現在結婚されていますか。結婚には、結婚届を出していない内縁の関係も含みます。

- ○ 結婚したことはない（未婚）
- ○ 結婚している（現在配偶者がいる）
- ○ 離別した
- ○ 死別した

Q13

あなたには、高校生以下（高校生を含む）のお子さんが何人いますか。いない場合は、0人と記入して下さい。
また、現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。一時的に別居している方は除いてご記入ください。

	人数
高校生以下のお子さん	
あなたといっしょに住んでいる方（あなたを含めて）	

ライブラリからインポート　新しい質問を追加

ブロックを追加

自分・家族，職場での感染

Q14

あなたは、これまで新型コロナウイルスに感染したことがありますか。

- ○ 感染したことがある
- ○ 感染したことはない

Q15

あなたの家族・親戚に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいましたか。

- ○ 同居の家族・親戚に感染した人がいた
- ○ 家族・親戚に感染した人がいたが、同居している人ではなかった
- ○ 感染した人はいない

Q16

この質問を表示

条件 あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

あなたの職場（複数の事業所がある場合は、あなたが所属する事業所）の従業員や、あなたが学んでいる学校の学生・生徒に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいましたか。また、いちどきに5人以上が感染したこと（いわゆるクラスターが発生したこと）がありますか。

【参考：回答しにくいケースの回答の仕方】
勤務先の**病院**で、患者に感染者が出たが、職員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、職員の中の感染者について回答してください。
勤務先の**店舗**等（**事業所**）で、顧客に感染者が出たが、従業員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、従業員の中の感染者について回答してください。
通学している**学校**で、教職員に感染者が出たが、学生・生徒には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、学生・生徒の中の感染者について回答してください。
勤務先の**学校**で、学生・生徒に感染者が出たが、教職員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、職員の中の感染者について回答してください。

- ○ 感染した人がおり、いちどきに5人以上が感染したこともあった
- ○ 感染した人がいたが、いちどきに5人以上が感染したことはなかった
- ○ 感染した人はいたが、いちどきに5人以上が感染したかどうかはわからない
- ○ 感染した人はいない
- ○ 感染した人がいるかどうかわからない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

友人・知人の感染

Q17

あなたの友人・知人（この中には、先にお尋ねした家族・親戚、あなたの職場（同じ事業所）の従業員・あなたが学んでいる学校の学生・生徒は含みません）の中に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいますか？　その人数をお答えください。
いない場合や、いるかどうかわからない場合は、「0人（いない）、いるかどうかわからない」とお答えください。だいたいの数でもかまいません。

0人（いない）、いるかどうかわからない

Q18

この質問を表示

条件 あなたの友人・知人（この中には、先にお尋ねした家族・親戚、あなたの職場（同じ事業所）の従業員・あなたが学んでいる学校の学生・生徒は含みません）の中に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいま... 0人（いない）、いるかどうかわからない 選択されていない

あなたの友人・知人（この中には、上でお尋ねした家族・親戚、職場（同じ事業所）の人は含みません）で、新型コロナウィルス（COIVD-19）にかかった人がどういう人かについて教えて下さい。（3人以上いる場合は、最もよく会う人、または、最も親しい人の中から、3人について教えて下さい。）

はじめに、その1～3人の名前やニックネーム、イニシャルなど、その人と識別しやすい文字を、それぞれの人の下の枠内に記入してください。
それから、それぞれの人について、その人がどんな人か、各項目について教えてください。

	どのような知り合い人か、当てはまるもの全てをチェックしてください										性別		年齢	住んでいる都道府県、または知り合った都道府県（ネット上の知り合いなどで居住地が分からない場合は、「わからない」を選択してください。）
	同じ会社・組織の他の事業所の人	取引先や顧客	幼なじみや同じ学校の同窓生	子どもの学校や幼稚園・保育園の関係者	同業者団体の人	同じ政治家の後援会に入ったり、政治的活動を行っている人	同じNPO団体やボランティア団体、消費者団体で活動する人	同じ趣味のグループの人	近所の人	その他の関係	男性	女性		
1人目														
2人目														
3人目														

ライブラリからインポート　新しい質問を追加

ブロックを追加

東日本大震災

Q19

あなたの友人・知人（家族・親族は含みません）の中に平成23年（2011年）3月の東日本大震災で亡くなった人は関連死を含めて何人いますか？　その人数をお答えください。
いない場合や、いるかどうかわからない場合は、「0人（いない）、いるかどうかわからない」とお答えください。

0人（いない）、いるかどうかわからない

ライブラリからインポート　新しい質問を追加

ブロックを追加

ワクチン接種

Q20

あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。

- ○ 接種していない
- ○ 1回接種した
- ○ 2回接種した

Q21

この質問を表示

条件 あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 1回接種した 選択されている
または あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 2回接種した 選択されている

1回目のワクチン接種をした月を教えてください。

1月

Q22

この質問を表示

条件 あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 2回接種した 選択されている

2回目のワクチン接種をした月を教えてください。

1月

Q23

この質問を表示

条件 あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 接種していない 選択されていない

あなたが1回目のワクチンを接種したとき、そのときまでにあなたの家族・親戚の中で、少なくとも1回はワクチンを接種した人がいましたか。いればチェックを入れてください。

接種したかわからない人には、チェックを入れないでください。
「そのうち（ ）人」という記述がある項目にチェックを入れた場合には、その下の枠内に、あなたが把握している人数を記入してください。人数が分からない場合は、空欄のままでかまいません。

- ☐ 配偶者
- ☐ 父
- ☐ 母
- ☐ 父方祖父
- ☐ 母方祖父
- ☐ 父方祖母
- ☐ 母方祖母
- ☐ ＊ 兄弟姉妹 そのうち（ ）人
- ☐ ＊ 子ども そのうち（ ）人
- ☐ ＊ 孫 そのうち（ ）人）
- ☐ 義父
- ☐ 義母
- ☐ 義父方の祖父
- ☐ 義母方の祖父
- ☐ 義父方の祖母
- ☐ 義母方の祖母
- ☐ ＊ 配偶者の兄弟姉妹のうち（ ）人

ページ区切り

Q24

この質問を表示

条件 あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 接種していない 選択されていない

および あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

あなたが1回目のワクチンを接種したとき、あなたの職場（同じ事業所内）や学校の人たちの中で、少なくとも1回は接種した人がどのくらいいましたか。だいたいの感じでかまいません。

- ○ ほとんど誰も接種していなかった
- ○ 2，3割くらいが接種していた
- ○ 半数くらいが接種していた
- ○ 7，8割くらいが接種していた
- ○ ほとんどが接種していた

Q25

この質問を表示

条件 あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。 接種していない 選択されていない

あなたが1回目のワクチンを接種したとき、あなたの友人・知人（家族・親戚、職場（同じ事業所内）や学校の人たちを除く）の中で、少なくとも1回は接種した人がどのくらいいましたか。 だいたいの感じでかまいません。

- ○ ほとんど誰も接種していなかった
- ○ 2，3割くらいが接種していた
- ○ 半数くらいが接種していた
- ○ 7，8割くらいが接種していた
- ○ ほとんどが接種していた

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

配偶者

Q26

この質問を表示

条件 あなたは現在結婚されていますか。結婚には、結婚届を出していない内縁の関係も含みます。... 結婚している（現在配偶者がいる） 選択されている

あなたは、現在の配偶者と、新型コロナウイルスの流行以前（2019年12月以前）から結婚していましたか。

- ○ はい
- ○ いいえ

Q27

この質問を表示

条件 あなたは現在結婚されていますか。結婚には、結婚届を出していない内縁の関係も含みます。... 結婚している（現在配偶者がいる） 選択されている

および あなたは、現在の配偶者と、新型コロナウイルスの流行以前（2019年12月以前）から結婚していましたか。... はい 選択されている

新型コロナウイルスが流行して以降、次にあげるそれぞれの項目について、どのような変化がありましたか。

	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
配偶者が、わたしの心配事や悩みごとを聞いてくれること	○	○	○	○	○
配偶者が、わたしの能力や努力を高く評価してくれること	○	○	○	○	○
配偶者が、わたしに助言やアドバイスをしてくれること	○	○	○	○	○

Q28

この質問を表示

条件　あなたは現在結婚されていますか。結婚には、結婚届を出していない内縁の関係も含みます。... 結婚している（現在配偶者がいる） 選択されている

および　あなたは、現在の配偶者と、新型コロナウイルスの流行以前（2019年12月以前）から結婚していましたか。... はい 選択されている

新型コロナウイルスが流行して以降、次にあげる点について、あなたの満足感にどのような変化がありましたか。

	満足感が高くなった	満足感が少し高くなった	満足感に変わりはない	満足感が少し低くなった	満足感が低くなった
子育てに対する配偶者の取り組み方	○	○	○	○	○
家事に対する配偶者の取り組み方	○	○	○	○	○
配偶者の仕事について（無職の場合は、仕事をしていない状態について）	○	○	○	○	○
性生活について	○	○	○	○	○
夫婦関係全体について	○	○	○	○	○

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

コロナ事実関係

Q29

この質問を表示

条件　あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている... 無職・家事 選択されていない

新型コロナウイルスによる最初の緊急事態宣言（2020年4月）以前、それ以降の最大時、現在それぞれについて、1週間あたり何日の自宅勤務（テレワーク）、またはオンライン授業の受講を行っていましたか。
全くなかった場合は、0日を選んでください。
たとえば、半日自宅勤務で、半日出勤の日がある場合は（つまり、少しでも出勤した場合は）、1日出勤したものと見なしてください。

	0日	1日	2日	3日	4日	5日以上
最初の緊急事態宣言（2020年4月）以前	○	○	○	○	○	○
最初の緊急事態宣言以降、自宅勤務やオンライン授業が最も多かった時	○	○	○	○	○	○
現在	○	○	○	○	○	○

ページ区切り

Q30

あなたは、新型コロナウイルスに関わる情報をどこで入手していますか。以下のそれぞれを見る頻度をお答えください。
※なお、以下で「ソーシャル・メディア」とは、ブログ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）、画像や動画の共有サイト、メッセージングアプリ、情報共有サイト、ソーシャルブックマークなどを指します。

	1日に何度も見る	1日1回くらい見る	2～3日に1回くらい見る	1週間に1回くらい見る	1ヶ月に1回くらい見る	ほとんど見ない	全く見ない
新聞の紙面、新聞のウェブサイト、新聞がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
テレビ放送、テレビのウェブサイト、テレビがソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
週刊誌の記事、週刊誌のウェブサイト、週刊誌がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
上記以外の国内のマスメディア（通信社など）、そのマスメディアのウェブサイト、そのマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○

	1日に何度も見る	1日1回くらい見る	2～3日に1回くらい見る	1週間に1回くらい見る	1ヶ月に1回くらい見る	ほとんど見ない	全く見ない
ネットメディア（新聞やテレビなどのマスメディアではない）のウェブサイト、ネットメディアがソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で不特定の人々が発信した情報	○	○	○	○	○	○	○
医学誌などの専門誌、医学会・医学誌のウェブサイト、医学会・医学誌がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
医師や病院のウェブサイト、医師や病院がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○

	1日に何度も見る	1日1回くらい見る	2～3日に1回くらい見る	1週間に1回くらい見る	1ヶ月に1回くらい見る	ほとんど見ない	全く見ない
政府や厚生労働省のウェブサイト、政府や厚生労働省がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
都道府県や市区町村のウェブサイト、都道府県や市区町村がソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
海外のマスメディアのウェブサイト、海外のマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○
海外の各国政府や国連、各国の公衆衛生部門や世界保健機関、各国の外交部門・大使館等のウェブサイト、それらがソーシャル・メディアで発する情報	○	○	○	○	○	○	○

ページ区切り

Q31

あなたの新型コロナウイルス（COVID-19）に対する予防対策について教えてください。

	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
外出時はなるべくマスクを付けるようにしている	○	○	○	○	○	○
外出時になるべく頻繁に除菌ジェルや除菌スプレーを使うようにしている	○	○	○	○	○	○
咳をするときには、マスクやハンカチ、ひじの内側などを使って、必ず口や鼻を覆う	○	○	○	○	○	○
タオルではなく、ペーパータオルを使うようにしている	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
手洗いをこまめに行うようにしている	○	○	○	○	○	○
持ち物を頻繁に除菌するようにしている	○	○	○	○	○	○
頻繁に換気をするようにしている	○	○	○	○	○	○
換気の悪い場所に行かないようにしている	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
人混みを避けるようにしている	○	○	○	○	○	○
他の人との距離を取るようにしている	○	○	○	○	○	○
体調が悪いときには、外出しないようにしている	○	○	○	○	○	○
帰宅後、なるべく早く風呂に入ったりシャワーを浴びたりするようにしている	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

新型コロナへの不安

Q32

新型コロナウイルス（COVID-19）の流行に関わる以下のようなことがらについて、あなたはどのようにお考えですか。

	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
新型コロナウイルスに感染することが怖い	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染すれば、重症化したり後遺症が残ってしまうのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに自分が感染したら、他人にうつしてしまうのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスの流行が、いつ収束するかわからないのが怖い	○	○	○	○	○	○
近い将来、新型コロナウイルスの変異株の中に、現在のワクチンが効かないものが現れるのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスの流行後の自分の将来が見通せない	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを友人・知人には知られたくない	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを他人には誰にも知られたくない	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人から避けられるのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人から避けられるのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人からひどい扱いを受けるのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人からひどい扱いを受けるのではないかと思う	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスは、自分や家族に一時的に大きな経済的な損失を与える	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスは、自分や家族に長期的な経済的損失を与える	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない
新型コロナウイルスは、自分の友人や知人の多くに経済的な損失を与える	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスは、日本経済に大きな損失を与える	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は長期的に回復しない	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスは、世界経済に大きな損失を与える	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は世界各国に遅れを取ってしまう	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルスによる経済損失から世界に先んじて回復すれば、日本経済は世界各国より優位に立てる	○	○	○	○	○	○
	とてもそう思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	全くそう思わない

ページ区切り

Q33

ワクチンを接種するかしないかについて、人々の意見や対応は分かれているようです。
では、下記の点について、あなた自身はどう思いますか。

すでにワクチンを1度でも接種された方は、**1回目を接種する前**のお気持ちを聞かせてください。
ワクチンを1度も接種されていない方は、**現在**のお気持ちを聞かせてください。
なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
発熱や腕の痛みなどが出る可能性があるのが怖かった（怖い）	○	○	○	○	○
副反応が重篤化(じゅうとくか)してしまう可能性が、わずかであっても存在することが怖かった（怖い）	○	○	○	○	○
ワクチンには、感染や症状の重症化を抑える効果があることが十分に示されていると思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンの治験が十分に行われていないように感じられた（感じる）	○	○	○	○	○
ワクチンを接種しても、感染してしまう可能性はあるので、接種しても仕方ないと思った（思う）	○	○	○	○	○
基礎疾患があるので接種したくなかった（したくない）※基礎疾患がない人は、「あてはまらない」にチェックしてください。	○	○	○	○	○
↳ 不妊や胎児への影響など、女性の身体に悪影響があるのではないかと感じた（感じる）	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
↳ 子宮頸がんのワクチンの安全性に疑問を感じているので、新型コロナウイルスのワクチンにも慎重にならざるを得ないと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンに異物が混入していたという報道を見て怖かった（怖い）	○	○	○	○	○
日常生活や仕事などで対人接触が多いので、ワクチンを打った方がよいと思った（思う）	○	○	○	○	○
安心して外出したいので、ワクチンを打ちたいと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンの接種証明によって、活動の種類や範囲を広げたいと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンを打つことで、自分が他の人に感染させる可能性を減らせると思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンを打たないと、不利な扱いや差別的な扱いを受けてしまうと思った（思う）	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
マスメディアでは、ワクチンは危険だという報道が多いと思った（思う）	○	○	○	○	○
インターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）では、ワクチンは危険だという言説が多いと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンを繰り返し打たないといけないのは面倒だと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンの予約がなかなか取れなかった（取れない）	○	○	○	○	○
ワクチンを打つことは、自然の摂理に反することだと思った（思う）	○	○	○	○	○
ワクチンを打つと、自分の遺伝子が変わってしまうことになると思った（思う）	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない

ページ区切り

Q34

あなたは、以下のようなことがらについて、どのくらい不安を感じますか。
なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。

	とても不安に思う	少し不安に思う	あまり不安に思わない	全く不安に思わない
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	○	○	○	○
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	○	○	○	○
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	○	○	○	○
世界各地で感染がなお収まらないこと	○	○	○	○
	とても不安に思う	少し不安に思う	あまり不安に思わない	全く不安に思わない
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	○	○	○	○
家族が感染すると、生活のさまざまな側面に支障が出ること	○	○	○	○
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	○	○	○	○
海外への旅行や出張ができないこと	○	○	○	○
	とても不安に思う	少し不安に思う	あまり不安に思わない	全く不安に思わない

ページ区切り

Q35

あなたは、以下のようなことがらについて、他の人に伝えたり話をしたりしたいと思いますか。
なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。

	伝えたり話したりしたい	少し伝えたり話したりしたい	あまり伝えたり話したりしたくない	伝えたり話したりしたくない
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	○	○	○	○
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	○	○	○	○
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	○	○	○	○
世界各地で感染がなお収まらないこと	○	○	○	○
	伝えたり話したりしたい	少し伝えたり話したりしたい	あまり伝えたり話したりしたくない	伝えたり話したりしたくない
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	○	○	○	○
家族が感染すると、生活のさまざまな側面に支障が出ること	○	○	○	○
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	○	○	○	○
海外への旅行や出張ができないこと	○	○	○	○
	伝えたり話したりしたい	少し伝えたり話したりしたい	あまり伝えたり話したりしたくない	伝えたり話したりしたくない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

選挙

Q36

この質問を表示

条件　あなたの年齢を教えてください。　14歳以下　選択されていない
および　あなたの年齢を教えてください。　15歳　選択されていない
および　あなたの年齢を教えてください。　16歳　選択されていない
および　あなたの年齢を教えてください。　17歳　選択されていない

あなたは、10月31日の衆議院議員選挙で何党の候補者に投票しましたか。小選挙区と比例区別に教えてください。

答えたくない場合は「答えたくない」に、投票に行っていない場合は「投票に行っていない」に、チェックしてください。

	小選挙区	比例区
自民党	○	○
公明党	○	○
立憲民主党	○	○
日本共産党	○	○
日本維新の会	○	○
国民民主党	○	○
れいわ新撰組	○	○
社民党	○	○
NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で	○	○
それ以外の政党	○	○
無所属	○	○
答えたくない	○	○
投票に行っていない	○	○

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

政策評価

Q37

新型コロナウイルスが流行して以来、これまで、3つの政権がこれに対応してきました。それぞれの政権担当者の新型コロナウイルスに関わる対策について、あなたはどのように評価しますか。また、専門家会議や分科会の座長や会長については、いかがでしょうか。
評価が高くも低くもない場合は、「どちらともいえない」に、その人物の政策や活動について知らなかったり、評価できなかったりする場合は、「わからない」にチェックしてください。

	高く評価する	やや評価する	どちらともいえない	あまり評価しない	全く評価しない	わからない
安倍政権の安倍晋三首相（発生当時から2020年9月16日）	○	○	○	○	○	○
安倍政権下の加藤勝信厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○
菅政権の菅義偉首相（2020年9月16日から2021年10月4日）	○	○	○	○	○	○
菅政権下の田村憲久厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○
安倍政権下・菅政権下の西村康稔新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣（2020年3月6日から2021年10月4日）	○	○	○	○	○	○
菅政権下の河野太郎ワクチン接種推進担当大臣（2021年1月18日から同年10月4日）	○	○	○	○	○	○
岸田政権の岸田文雄首相（2021年10月4日から現在）	○	○	○	○	○	○
岸田政権下の後藤茂之厚生労働大臣	○	○	○	○	○	○
岸田政権下の山際大志郎新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣	○	○	○	○	○	○
岸田政権下の堀内詔子ワクチン接種推進担当大臣	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（2020年2月14日から同年7月3日）の脇田隆字座長	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症対策分科会（2020年7月6日から現在）の尾身茂会長	○	○	○	○	○	○

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

SNS

Q38

あなたは次のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用していますか。
利用しているSNSにすべてチェックを入れてください。
どれも利用していない方は、「あてはまるものはない」をチェックしてください。

- [ ] Twitter
- [ ] Facebook
- [ ] Instagram
- [ ] LINE
- [ ] ※ あてはまるものはない

Q39

この質問を表示

条件　あなたは次のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用していますか。 利用しているSNSにすべてチェックを入れてください。 どれも利用していない方は、「あてはまるものはない」をチェッ... あてはまるものはない　選択されていない

あなたがフォローしているアカウント数（フォロー数）や友だちの数を教えてください。（半角数字を記入してください。）

注意：「フォロー数」は組織などをフォローしている場合も含みます。フォローされている数（フォロワー数）ではありません。

- Twitter（自分がフォローしている数）
- Facebook（友達の人数）
- Instagram（自分がフォローしている数）
- LINE（友だちの数）

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

友人・知人数

Q40

下にいくつかの苗字を示します。あなたの友人・知人（家族・親戚は含みません）の中で、次のような苗字の方は、何人いますか。その人数を選んでください。
その苗字の友人・知人がいない場合には、「0人（いない）」を選択してください。

岩崎	
平野	
上野	
高田	
石田	
和田	
田村	
中野	
松田	
青木	
松井	
小山	
村田	
大野	
横山	
柴田	
中山	
岡田	
小川	
藤田	

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

意識項目

Q41

あなた自身について、いくつかお尋ねします。以下の文章について、それぞれの文章があなた自身にどの程度あてはまるかを考え、あてはまるものを選んでください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
まわりの人と協力していると心地よく感じる	○	○	○	○	○
つい人の視線が気になってしまう	○	○	○	○	○
たいていは自分だけで物事の決断をする	○	○	○	○	○
つねに自分自身の意見を持つようにしている	○	○	○	○	○
自分の意見をいつもはっきり言う	○	○	○	○	○
まわりの人が自分をどう思っているかが、つい気になる	○	○	○	○	○
まわりの人との間で和をたもつことを大切にしている	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
まわりの人の気持ちを尊重するようにしている	○	○	○	○	○
ほかの人とはちがった生き方をしたい	○	○	○	○	○
人と話をするときには、直接的にずばりと言う方が好きだ	○	○	○	○	○
まわりの人との関係や、地位のちがいがつい気になってしまう	○	○	○	○	○
相手を傷つけないようにあいまいな表現をするより、はっきりと自分の考えを伝えるようにしている	○	○	○	○	○
ほかの人とはちがう自分が好きだ	○	○	○	○	○
いつも自分の立場をちゃんと主張するようにしている	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
自分の利益にならなくても、まわりの人の役に立つことができればうれしい	○	○	○	○	○
自分の好きなようにできなくなるくらいなら、人の助けを求めたいとは思わない	○	○	○	○	○
まわりの人がどう思うかが気になって、自分のしたいことをそのままできないことがある	○	○	○	○	○
いつもまわりの人の立場にたって物事を考えるようにしている	○	○	○	○	○
まわりの人に左右されない生き方をしたい	○	○	○	○	○
まわりの人からきらわれないようにふるまうことがよくある	○	○	○	○	○
	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない

ページ区切り

Q42

次のようなことは、どのくらいあなたにあてはまりますか。最も近いものを選んでください。

	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない	全くあてはまらない
何かを計画する時、失敗している自分の姿が頭に浮かぶ	○	○	○	○
何をしても、うまくいかないことばかりを想像する	○	○	○	○
何かに取りかかる時は、失敗するだろうと考える	○	○	○	○
自分の将来は、良いことが起こると思う	○	○	○	○
将来、幸せになれると思う	○	○	○	○
自分の将来は、恵まれていると思う	○	○	○	○
	よくあてはまる	あてはまる	あてはまらない	全くあてはまらない

Q43

あなたの考えに最も近いものを選んでください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
私は人を信頼するほうである	○	○	○	○
ほとんどの人は信頼できる	○	○	○	○
ほとんどの人は基本的に善良で親切である	○	○	○	○
私は自分自身のことを、活発で、外交的だと思う	○	○	○	○
私は自分自身のことを、ひかえめで、おとなしいと思う	○	○	○	○
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

Q44

世の中のありかたについて次のような意見があります。あなたはどう思いますか。あなたの考えにいちばん近いものをひとつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
権威ある人々にはつねに敬意を払わなければならない	○	○	○	○	○
以前からなされてきたやり方を守ることが、最上の結果を生む	○	○	○	○	○
伝統や習慣にしたがったやり方に疑問を持つ人は、結局は問題を引き起こすことになる	○	○	○	○	○
この複雑な世の中で何をすべきかを知る一番よい方法は、指導者や専門家に頼ることである	○	○	○	○	○
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

学歴・収入

Q45

あなたが通ったことのある学校を、すべてお聞かせください。中退・通学中の学校にも選んでください。

- [ ] 中学校
- [ ] 高校
- [ ] 専門学校
- [ ] 短大・高専
- [ ] 大学
- [ ] 大学院
- [ ] ＊ その他（具体的に）

ページ区切り

Q46

令和元年（2019年、新型コロナウイルスが流行する前年）、令和2年（2020年）、令和3年（2021年）の1～12月のあなたの収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。
年金、株式配当などすべての収入について、臨時収入、副収入も含めてお答えください。
令和3年（2021年）については、見込みの額をお答えください。

	2019年	2020年	2021年
25万円未満	○	○	○
25～50万円未満	○	○	○
50～100万円未満	○	○	○
100～200万円未満	○	○	○
200～300万円未満	○	○	○
300～400万円未満	○	○	○
400～600万円未満	○	○	○
600～800万円未満	○	○	○
800～1,000万円未満	○	○	○
1,000～1,500万円未満	○	○	○
1,500～2,000万円未満	○	○	○
2,000～2,500万円未満	○	○	○
2,500～3,000万円未満	○	○	○
3,000万円以上	○	○	○

Q47

令和元年（2019年）、令和2年（2020年）、令和3年（2021年）の1～12月のあなたの世帯全体の収入（あなたと配偶者とその他の方の合計）は、税込みでいくらぐらいでしたか。
年金、株式配当などすべての収入について、臨時収入、副収入も含めてお答えください。
令和3年（2021年）については、見込みの額をお答えください。

	2019年	2020年	2021年
25万円未満	○	○	○
25～50万円未満	○	○	○
50～100万円未満	○	○	○
100～200万円未満	○	○	○
200～300万円未満	○	○	○
300～400万円未満	○	○	○
400～600万円未満	○	○	○
600～800万円未満	○	○	○
800～1,000万円未満	○	○	○
1,000～1,500万円未満	○	○	○
1,500～2,000万円未満	○	○	○
2,000～2,500万円未満	○	○	○
2,500～3,000万円未満	○	○	○
3,000万円以上	○	○	○

ライブラリからインポート　＋ 新しい質問を追加

ブロックを追加

アンケートの終了

アンケートにご協力いただきありがとうございます。

回答が記録されました。

（付録２）

「新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査」
基礎集計表

基礎集計表にかかわる注意事項

- この集計表は，回収された 918 票のうち，有効と判断された 666 票の単純集計を示したものです．設問により，無回答や非該当があります．無回答については，項目として示し，その度数と％を示しています. 非該当については, それを除いた度数と％を示しています. また，辻が設定を誤ったことによってデータが取得できず全てが欠損値となってしまった項目もあります.
- 自由回答については, 既存の項目に含まれる内容の場合は, 既存の項目に算入しています. それ以外の場合には，集計していません.
- 基本的なデータクリーニング作業は終了していますが，今後の作業の進展に伴い，数値の訂正が生じることがあります．そのため，本調査のデータ，および分析結果は，今後の発表等において本報告書にあるものと数値が異なる可能性があります.

基礎集計表

Q1		はじめに		
		この調査は、新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる**学術調査**です。 皆様のご協力をお願いします。質問数がやや多く、人によって違いますが、およそ 30～50 分くらいかかりますので、時間に余裕がある方の回答をお願いします。 対象年齢は、高校生以上、74 歳までです。 本調査をもとに学術論文の執筆や報告書の作成を行う予定ですが、個人のお名前や病歴などの個人情報が公表されることはありませんので、安心してご回答ください。 本調査にご協力いただけるようでしたら、「問題に進む」を、ここでやめようと思われた方は、「この調査には回答しない」を選んでください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
この調査には回答しない	0	0	0.00	0.00
問題に進む	1	666	100.00	100.00
Total		666	100.00	

Q2		あなたの性別をお聞かせください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
男	0	289	43.39	43.39
女	1	377	56.61	100.00
Total		666	100.00	

Q3		あなたがお住まいの都道府県を教えてください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
北海道	1	23	3.45	3.45
青森県	2	5	0.75	4.20
岩手県	3	6	0.90	5.11
宮城県	4	7	1.05	6.16
秋田県	5	3	0.45	6.61
山形県	6	6	0.90	7.51
福島県	7	9	1.35	8.86
茨城県	8	15	2.25	11.11
栃木県	9	7	1.05	12.16
群馬県	10	9	1.35	13.51
埼玉県	11	39	5.86	19.37
千葉県	12	33	4.95	24.32
東京都	13	82	12.31	36.64
神奈川県	14	58	8.71	45.35
新潟県	15	13	1.95	47.30
富山県	16	12	1.80	49.10
石川県	17	7	1.05	50.15
福井県	18	3	0.45	50.60
山梨県	19	3	0.45	51.05
長野県	20	14	2.10	53.15
岐阜県	21	9	1.35	54.50
静岡県	22	10	1.50	56.01
愛知県	23	41	6.16	62.16
三重県	24	8	1.20	63.36
滋賀県	25	10	1.50	64.86
京都府	26	13	1.95	66.82
大阪府	27	51	7.66	74.47
兵庫県	28	29	4.35	78.83
奈良県	29	10	1.50	80.33
和歌山県	30	5	0.75	81.08
鳥取県	31	3	0.45	81.53
島根県	32	3	0.45	81.98
岡山県	33	12	1.80	83.78
広島県	34	16	2.40	86.19
山口県	35	8	1.20	87.39
徳島県	36	3	0.45	87.84
香川県	37	8	1.20	89.04
愛媛県	38	8	1.20	90.24
高知県	39	2	0.30	90.54
福岡県	40	22	3.30	93.84
佐賀県	41	4	0.60	94.44
長崎県	42	7	1.05	95.50
熊本県	43	9	1.35	96.85
大分県	44	7	1.05	97.90
宮崎県	45	3	0.45	98.35
鹿児島県	46	7	1.05	99.40
沖縄県	47	4	0.60	100.00
	Total	666	100.00	

Q4　あなたの年齢を教えてください。

Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
666	49.39	15.82	15	74

Q5		あなたは中学生ですか、高校生ですか。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
中学生	0	0	0	0
高校生	1	1	0.15	0.15
.	.	665	99.85	100.00
Total		666	100.00	

Q6		あなたの現在のお仕事についてうかがいます。 複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてうかがいます。 あなたはどのような形で働いていますか。 学校に通われている方は、アルバイトなどをされている場合でも、「学生・生徒」を選んでください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
従業員 30 人以上の経営者・役員	1	8	1.20	1.20
正規雇用（公務員を含む）・常時雇用の一般従業員	2	196	29.43	30.63
臨時雇用・パート・アルバイト	3	110	16.52	47.15
派遣社員・契約社員・嘱託社員	4	45	6.76	53.90
従業員 30 人未満の経営者・自営業主（農業を含む）・家族従業者・自由業者・内職	5	38	5.71	59.61
無職・家事	6	237	35.59	95.20
学生・生徒	7	32	4.80	100.00
Total		666	100.00	

Q7　あなたはどのような仕事をしていますか。

	識別値
農林漁業職（植木職、造園業を含む）	1
技能・労務・作業系の職業（工場労働者、自衛官、警察官、職人、建設作業者、運転手など）	2
販売・サービス系の職業（店主、店員、営業社員、美容師、クリーニング、給仕、接客、清掃、ヘルパーなど）	3
事務的職業（事務員、銀行員など）	4
管理的職業（課長相当以上の管理職、議員など）	5
専門的職業（医師、弁護士、教員、エンジニア、プログラマー、看護師、介護士、作家、デザイナー、編集者など）	6

※プログラムの不備により，データが取得できず.

Q8		あなたの仕事は、次のようなものに当てはまりますか。当てはまる場合にはチェックを入れてください。当てはまるものがない場合には、最後の「当てはまるものはない」にチェックを入れてください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
医療・看護従事者	1	19	2.85	2.85
福祉・介護従事者	2	27	4.05	6.91
接待を伴う飲食店の従事者	3	7	1.05	7.96
接待を伴わない飲食店の従事者	4	8	1.20	9.16
対面的接触が多い店員や販売員	5	35	5.26	14.41
理容・美容・エステなど身体接触のある職業の従事者	6	6	0.90	15.32
公共交通機関（タクシーを含む）や宅配業務の従業者	7	8	1.20	16.52
外回りの営業員	8	14	2.10	18.62
流れ作業を伴う工場での従業員	9	31	4.65	23.27
当てはまるものはない	10	242	36.34	59.61
	.	269	40.39	100.00
	Total	666	100.00	

Q9　現在、通勤・通学時間は片道何分くらいですか。

自宅でお仕事をされている方は「0」とお答えください。

テレワークと職場での仕事が両方ある場合は、職場までの時間をお答えください。

180 分以上の方は、「180」とお答えください。

Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
429	35.32	31.82	0	180

Q10　あなたのふだんの通勤・通学のための交通手段について教えて下さい。次のうち当てはまるもの全てを選んでください。

自宅でお仕事をされている方は「通勤・通学していない」とお答えください。

テレワークと職場での仕事が両方ある場合は、職場に行くまでの交通手段をお答えください。

	識別値
公共交通機関（電車・バス）	1
タクシー	2
自家用車・社用車	3
その他の乗り物（具体的に）	4
自宅から駅・停留所・駐車場までの 10 分以上の徒歩・自転車・バイク	5
駅・停留所・駐車場から職場までの 10 分以上の徒歩・自転車・バイク	6
徒歩のみ	7
自宅勤務、通勤・通学していない	8

※プログラムの不備により，データが取得できず.

Q11		あなたが住んでいるところは、どのようなところですか。最も当てはまると思うところを選んでください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
大都市の中心部	1	79	11.86	11.86
大都市の郊外	2	137	20.57	32.43
中小都市の中心部	3	115	17.27	49.70
中小都市の郊外	4	270	40.54	90.24
農村・漁村、田舎	5	65	9.76	100.00
Total		666	100.00	

Q12		あなたは現在結婚されていますか。結婚には、結婚届を出していない内縁の関係も含みます。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
結婚したことはない（未婚）	1	219	32.88	32.88
結婚している（現在配偶者がいる）	2	377	56.61	89.49
離別した	3	47	7.06	96.55
死別した	4	23	3.45	100.00
Total		666	100.00	

Q13　あなたには、高校生以下（高校生を含む）のお子さんが何人いますか。いない場合は、0 人と記入して下さい。
また、現在、あなたといっしょに住んでいる方は、あなたを含めて全部で何人ですか。一時的に別居している方は除いてご記入ください。

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
高校生以下のお子さん	666	0.32	0.72	0	5
あなたといっしょに住んでいる方（あなたを含めて）	666	2.36	1.26	1	7

Q14		あなたは、これまで新型コロナウイルスに感染したことがありますか。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
感染したことがある	1	7	1.05	1.05
感染したことはない	0	659	98.95	100.0
Total		666	100.00	

Q15		あなたの家族・親戚に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいましたか。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
同居の家族・親戚に感染した人がいた	1	13	1.95	1.95
家族・親戚に感染した人がいたが、同居している人ではなかった	2	24	3.60	5.56
感染した人はいない	0	629	94.44	100.00
Total		666	100.00	

Q16	あなたの職場（複数の事業所がある場合は、あなたが所属する事業所）の従業員や、あなたが学んでいる学校の学生・生徒に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいましたか。また、いちどきに 5 人以上が感染したこと（いわゆるクラスターが発生したこと）がありますか。 【参考：回答しにくいケースの回答の仕方】 勤務先の**病院**で、患者に感染者が出たが、職員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、職員の中の感染者について回答してください。 勤務先の**店舗**等（**事業所**）で、顧客に感染者が出たが、従業員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、従業員の中の感染者について回答してください。 通学している**学校**で、教職員に感染者が出たが、学生・生徒には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、学生・生徒の中の感染者について回答してください。 勤務先の**学校**で、学生・生徒に感染者が出たが、教職員には感染者が出ていない場合→「感染した人はいない」と回答してください。つまり、職員の中の感染者について回答してください。

Q16	識別値	Freq.	Percent	Cum.
感染した人がおり、いちどきに 5 人以上が感染したこともあった	1	14	2.10	2.10
感染した人がいたが、いちどきに 5 人以上が感染したことはなかった	2	78	11.71	13.81
感染した人はいたが、いちどきに 5 人以上が感染したかどうかはわからない	3	19	2.85	16.67
感染した人はいない	0	281	42.19	58.86
感染した人がいるかどうかわからない	7	37	5.56	64.41
	.	237	35.59	100.00
	Total	666	100.00	

Q17　あなたの友人・知人（この中には、先にお尋ねした家族・親戚、あなたの職場（同じ事業所）の従業員・あなたが学んでいる学校の学生・生徒は含みません）の中に、これまで新型コロナウイルスに感染した人はいますか？　その人数をお答えください。
いない場合や、いるかどうかわからない場合は、「0 人（いない)、いるかどうかわからない」とお答えください。だいたいの数でもかまいません。

Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
666	0.46	1.90	0	21

Q18　あなたの友人・知人（この中には、上でお尋ねした家族・親戚、職場（同じ事業所）の人は含みません）で、新型コロナウィルス（COIVD-19）にかかった人がどういう人かについて教えて下さい。(3 人以上いる場合は、最もよく会う人、または、最も親しい人の中から、3 人について教えて下さい。)
はじめに、その 1～3 人の名前やニックネーム、イニシャルなど、その人と識別しやすい文字を、それぞれの人の下の枠内に記入してください。
それから、それぞれの人について、その人がどんな人か、各項目について教えてください。

※以下では，1 人目から 3 人目までの回答を各変数ごとに集計した数値を掲載する.

同じ会社・組織の他の事業所の人	Freq.	Percent	Cum.
0	92	46.70	46.70
1	105	53.30	100.00
Total	197	100.00	

取引先や顧客	Freq.	Percent	Cum.
0	180	91.37	91.37
1	17	8.63	100.00
Total	197	100.00	

幼なじみや同じ学校の同窓生	Freq.	Percent	Cum.
0	182	92.39	92.39
1	15	7.61	100.00
Total	197	100.00	

子どもの学校や幼稚園・保育園の関係者	Freq.	Percent	Cum.
0	190	96.45	96.45
1	7	3.55	100.00
Total	197	100.00	

同業者団体の人	Freq.	Percent	Cum.
0	159	80.71	80.71
1	38	19.29	100.00
Total	197	100.00	

同じ政治家の後援会に入ったり、政治的活動を行っている人	Freq.	Percent	Cum.
0	162	82.23	82.23
1	35	17.77	100.00
Total	197	100.00	

同じ NPO 団体やボランティア団体、消費者団体で活動する人	Freq.	Percent	Cum.
0	195	98.98	98.98
1	2	1.02	100.00
Total	197	100.00	

同じ趣味のグループの人	Freq.	Percent	Cum.
0	189	95.94	95.94
1	8	4.06	100.00
Total	197	100.00	

近所の人	Freq.	Percent	Cum.
0	188	95.43	95.43
1	9	4.57	100.00
Total	197	100.00	

その他の関係	Freq.	Percent	Cum.
0	156	79.19	79.19
1	41	20.81	100.00
Total	197	100.00	

性別	識別値	Freq.	Percent	Cum.
男	0	130	65.99	65.99
女	1	67	34.01	100.00
Total		197	100.00	

年齢	識別値	Freq.	Percent	Cum.
10 代	15	12	6.09	6.09
20 代	25	27	13.71	19.80
30 代	35	41	20.81	40.61
40 代	45	45	22.84	63.45
50 代	55	28	14.21	77.66
60 代	65	12	6.09	83.76
70 代	75	10	5.08	88.83
80 代	85	13	6.60	95.43
わからない	88	9	4.57	100.00
Total		197	100	

住んでいる都道府県、または知り合った都道府県（ネット上の知り合いなどで居住地が分からない場合は、「わからない」を選択してください。）				
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
北海道	1	7	3.55	3.55
青森県	2	1	0.51	4.06
宮城県	4	6	3.05	7.11
山形県	6	2	1.02	8.12
茨城県	8	4	2.03	10.15
群馬県	10	2	1.02	11.17
埼玉県	11	14	7.11	18.27
千葉県	12	5	2.54	20.81
東京都	13	43	21.83	42.64
神奈川県	14	15	7.61	50.25
新潟県	15	1	0.51	50.76
富山県	16	1	0.51	51.27
岐阜県	21	4	2.03	53.30
静岡県	22	7	3.55	56.85
愛知県	23	5	2.54	59.39
三重県	24	1	0.51	59.90
滋賀県	25	1	0.51	60.41
大阪府	27	21	10.66	71.07
奈良県	29	1	0.51	71.57
島根県	32	1	0.51	72.08
岡山県	33	3	1.52	73.60
広島県	34	2	1.02	74.62
徳島県	36	3	1.52	76.14
愛媛県	38	1	0.51	76.65
福岡県	40	14	7.11	83.76
佐賀県	41	3	1.52	85.28
長崎県	42	1	0.51	85.79
熊本県	43	1	0.51	86.29
大分県	44	5	2.54	88.83
沖縄県	47	1	0.51	89.34
わからない	77	21	10.66	100.00
	Total	197		

Q19　あなたの友人・知人（家族・親族は含みません）の中に平成 23 年（2011 年）3 月の東日本大震災で亡くなった人は関連死を含めて何人いますか？　その人数をお答えください。
いない場合や、いるかどうかわからない場合は、「0 人（いない）、いるかどうかわからない」とお答えください。

Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
666	0.06	0.51	0	11

Q20		あなたは、新型コロナウイルスのワクチンを接種しましたか。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
接種していない	0	97	14.56	14.56
1 回接種した	1	13	1.95	16.52
2 回接種した	2	556	83.48	100.00
Total		666	100.00	

Q21		1 回目のワクチン接種をした月を教えてください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
1 月	1	1	0.15	0.15
2 月	2	2	0.30	0.45
3 月	3	2	0.30	0.75
4 月	4	6	0.90	1.65
5 月	5	32	4.80	6.46
6 月	6	87	13.06	19.52
7 月	7	165	24.77	44.29
8 月	8	100	15.02	59.31
9 月	9	102	15.32	74.62
10 月	10	62	9.31	83.93
11 月	11	10	1.50	85.44
	.	97	14.56	100.00
Total		666	100.00	

Q22		2 回目のワクチン接種をした月を教えてください。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
1 月	1	1	0.15	0.15
4 月	4	3	0.45	0.60
5 月	5	5	0.75	1.35
6 月	6	45	6.76	8.11
7 月	7	110	16.52	24.62
8 月	8	147	22.07	46.70
9 月	9	108	16.22	62.91
10 月	10	93	13.96	76.88
11 月	11	44	6.61	83.48
	.	110	16.52	100.00
Total		666	100.00	

Q23　あなたが１回目のワクチンを接種したとき、そのときまでにあなたの家族・親戚の中で、少なくとも１回はワクチンを接種した人がいましたか。いればチェックを入れてください。
接種したかわからない人には、チェックを入れないでください。
「そのうち（　）人」という記述がある項目にチェックを入れた場合には、その下の枠内に、あなたが把握している人数を記入してください。人数が分からない場合は、空欄のままでかまいません。

配偶者	Freq.	Percent	Cum.
0	262	39.34	39.34
1	194	29.13	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

父	Freq.	Percent	Cum.
0	274	41.14	41.14
1	182	27.33	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

母	Freq.	Percent	Cum.
0	213	31.98	31.98
1	243	36.49	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

父方祖父	Freq.	Percent	Cum.
0	442	66.37	66.37
1	14	2.10	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

母方祖父	Freq.	Percent	Cum.
0	440	66.07	66.07
1	16	2.40	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

父方祖母	Freq.	Percent	Cum.
0	434	65.17	65.17
1	22	3.30	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

母方祖母	Freq.	Percent	Cum.
0	432	64.86	64.86
1	24	3.60	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

兄弟姉妹	Freq.	Percent	Cum.
0	355	53.30	53.30
1	101	15.17	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
兄弟姉妹のうち人数	55	1.24	0.67	1	5

子ども	Freq.	Percent	Cum.
0	402	60.36	60.36
1	54	8.11	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
子どものうち人数	21	1.62	0.80	1	4

孫	Freq.	Percent	Cum.
0	453	68.02	68.02
1	3	0.45	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
孫のうち人数	1	1	.	1	1

義父	Freq.	Percent	Cum.
0	395	59.31	59.31
1	61	9.16	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

義母	Freq.	Percent	Cum.
0	371	55.71	55.71
1	85	12.76	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

義父方の祖父	Freq.	Percent	Cum.
0	451	67.72	67.72
1	5	0.75	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

義母方の祖父	Freq.	Percent	Cum.
0	452	67.87	67.87
1	4	0.60	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

義父方の祖母	Freq.	Percent	Cum.
0	454	68.17	68.17
1	2	0.30	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

義母方の祖母	Freq.	Percent	Cum.
0	453	68.02	68.02
1	3	0.45	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

配偶者の兄弟姉妹	Freq.	Percent	Cum.
0	428	64.26	64.26
1	28	4.20	68.47
.	210	31.53	100.00
Total	666	100.00	

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
配偶者の兄弟姉妹のうち人数	15	0.93	1.10	0	3

Q24		あなたが 1 回目のワクチンを接種したとき、あなたの職場（同じ事業所内）や学校の人たちの中で、少なくとも 1 回は接種した人がどのくらいいましたか。 だいたいの感じでかまいません。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
ほとんど誰も接種していなかった	1	73	10.96	10.96
2，3 割くらいが接種していた	2	101	15.17	26.13
半数くらいが接種していた	3	80	12.01	38.14
7，8 割くらいが接種していた	4	50	7.51	45.65
ほとんどが接種していた	5	64	9.61	55.26
	.	298	44.74	100.00
	Total	666	100.00	

Q25		あなたが 1 回目のワクチンを接種したとき、あなたの友人・知人（家族・親戚、職場（同じ事業所内）や学校の人たちを除く）の中で、少なくとも 1 回は接種した人がどのくらいいましたか。 だいたいの感じでかまいません。		
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
ほとんど誰も接種していなかった	1	161	24.17	24.17
2，3 割くらいが接種していた	2	144	21.62	45.80
半数くらいが接種していた	3	124	18.62	64.41
7，8 割くらいが接種していた	4	60	9.01	73.42
ほとんどが接種していた	5	80	12.01	85.44
	.	97	14.56	100.00
	Total	666	100.00	

Q26		あなたは、現在の配偶者と、新型コロナウイルスの流行以前（2019 年 12 月以前）から結婚していましたか。		
Q26	識別値	Freq.	Percent	Cum.
はい	1	365	54.80	54.80
いいえ	0	12	1.80	56.61
	.	289	43.39	100.00
	Total	666	100.00	

Q27　新型コロナウイルスが流行して以降、次にあげるそれぞれの項目について、どのような変化がありましたか。

スケール：増えた(5)，やや増えた，変わらない，やや減った，減った(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
配偶者が、わたしの心配事や悩みごとを聞いてくれること	365	3.14	0.48	1	5
配偶者が、わたしの能力や努力を高く評価してくれること	365	3.11	0.49	1	5
配偶者が、わたしに助言やアドバイスをしてくれること	365	3.15	0.50	1	5

Q28　新型コロナウイルスが流行して以降、次にあげる点について、あなたの満足感にどのような変化がありましたか。

スケール：満足感が高くなった(5)，満足感が少し高くなった，満足感に変わりはない，満足感が少し低くなった，満足感が低くなった(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
子育てに対する配偶者の取り組み方	249	3.06	0.31	2	5
家事に対する配偶者の取り組み方	365	3.10	0.61	1	5
配偶者の仕事について（無職の場合は、仕事をしていない状態について）	365	3.04	0.56	1	5
性生活について	365	2.91	0.59	1	5
夫婦関係全体について	365	3.07	0.63	1	5

Q29　新型コロナウイルスによる最初の緊急事態宣言（2020 年 4 月）以前、それ以降の最大時、現在それぞれについて、1 週間あたり何日の自宅勤務（テレワーク）、またはオンライン授業の受講を行っていましたか。

全くなかった場合は、0 日を選んでください。

たとえば、半日自宅勤務で、半日出勤の日がある場合は（つまり、少しでも出勤した場合は）、1 日出勤したものと見なしてください。

スケール：0 日(0)，1 日，2 日，3 日，4 日，5 日以上(5)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
最初の緊急事態宣言（2020 年 4 月）以前	429	0.66	1.55	0	5
最初の緊急事態宣言以降、自宅勤務やオンライン授業が最も多かった時	429	1.17	1.90	0	5
現在	429	0.72	1.50	0	5

Q30　あなたは、新型コロナウイルスに関わる情報をどこで入手していますか。以下のそれぞれを見る頻度をお答えください。

※なお、以下で「ソーシャル・メディア」とは、ブログ、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS)、画像や動画の共有サイト、メッセージングアプリ、情報共有サイト、ソーシャルブックマークなどを指します。

スケール：1 日に何度も見る(7)，1 日 1 回くらい見る，2～3 日に 1 回くらい見る，1 週間に 1 回くらい見る，1 ヶ月に 1 回くらい見る，ほとんど見ない，全く見ない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
新聞の紙面、新聞のウェブサイト、新聞がソーシャル・メディアで発する情報	666	4.42	2.31	1	7
テレビ放送、テレビのウェブサイト、テレビがソーシャル・メディアで発する情報	666	5.57	1.81	1	7
週刊誌の記事、週刊誌のウェブサイト、週刊誌がソーシャル・メディアで発する情報	666	2.52	1.95	1	7
上記以外の国内のマスメディア（通信社など)、そのマスメディアのウェブサイト、そのマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	666	3.14	2.19	1	7
ネットメディア（新聞やテレビなどのマスメディアではない）のウェブサイト、ネットメディアがソーシャル・メディアで発する情報	666	4.49	2.23	1	7
ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）で不特定の人々が発信した情報	666	2.92	2.21	1	7
医学誌などの専門誌、医学会・医学誌のウェブサイト、医学会・医学誌がソーシャル・メディアで発する情報	666	2.10	1.59	1	7
医師や病院のウェブサイト、医師や病院がソーシャル・メディアで発する情報	666	2.09	1.52	1	7
政府や厚生労働省のウェブサイト、政府や厚生労働省がソーシャル・メディアで発する情報	666	2.53	1.74	1	7
都道府県や市区町村のウェブサイト、都道府県や市区町村がソーシャル・メディアで発する情報	666	2.99	1.92	1	7
海外のマスメディアのウェブサイト、海外のマスメディアがソーシャル・メディアで発する情報	666	2.08	1.58	1	7
海外の各国政府や国連、各国の公衆衛生部門や世界保健機関、各国の外交部門・大使館等のウェブサイト、それらがソーシャル・メディアで発する情報	666	1.85	1.40	1	7

Q31　あなたの新型コロナウイルス（COVID-19）に対する予防対策について教えてください。
スケール：とてもそう思う(6)，そう思う，ややそう思う，あまりそう思わない，そう思わない，全くそう思わない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
外出時はなるべくマスクを付けるようにしている	666	5.74	0.67	1	6
外出時になるべく頻繁に除菌ジェルや除菌スプレーを使うようにしている	666	4.90	1.27	1	6
咳をするときには、マスクやハンカチ、ひじの内側などを使って、必ず口や鼻を覆う	666	5.48	0.88	1	6
タオルではなく、ペーパータオルを使うようにしている	666	3.88	1.50	1	6
手洗いをこまめに行うようにしている	666	5.16	1.04	1	6
持ち物を頻繁に除菌するようにしている	666	3.68	1.44	1	6
頻繁に換気をするようにしている	666	4.42	1.25	1	6
換気の悪い場所に行かないようにしている	666	4.69	1.21	1	6
人混みを避けるようにしている	666	4.96	1.09	1	6
他の人との距離を取るようにしている	666	4.84	1.08	1	6
体調が悪いときには、外出しないようにしている	666	5.17	0.97	1	6
帰宅後、なるべく早く風呂に入ったりシャワーを浴びたりするようにしている	666	3.76	1.46	1	6

Q32　新型コロナウイルス（COVID-19）の流行に関わる以下のようなことがらについて、あなたはどのようにお考えですか。

スケール：とてもそう思う(6)，そう思う，ややそう思う，あまりそう思わない，そう思わない，全くそう思わない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
新型コロナウイルスに感染することが怖い	666	5.04	1.12	1	6
新型コロナウイルスに感染すれば、重症化したり後遺症が残ってしまうのではないかと思う	666	4.93	1.12	1	6
新型コロナウイルスに自分が感染したら、他人にうつしてしまうのではないかと思う	666	5.06	1.10	1	6
新型コロナウイルスの流行が、いつ収束するかわからないのが怖い	666	4.93	1.15	1	6
近い将来、新型コロナウイルスの変異株の中に、現在のワクチンが効かないものが現れるのではないかと思う	666	5.00	1.07	1	6
新型コロナウイルスの流行後の自分の将来が見通せない	666	4.21	1.36	1	6
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを友人・知人には知られたくない	666	3.89	1.40	1	6
新型コロナウイルスに感染しても、感染したことを他人には誰にも知られたくない	666	3.94	1.44	1	6
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人から避けられるのではないかと思う	666	4.04	1.39	1	6
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人から避けられるのではないかと思う	666	4.06	1.32	1	6
新型コロナウイルスに感染すると、友人・知人からひどい扱いを受けるのではないかと思う	666	3.29	1.42	1	6
新型コロナウイルスに感染すると、見ず知らずの人からひどい扱いを受けるのではないかと思う	666	3.67	1.38	1	6
新型コロナウイルスは、自分や家族に一時的に大きな経済的な損失を与える	666	4.44	1.26	1	6
新型コロナウイルスは、自分や家族に長期的な経済的損失を与える	666	4.31	1.30	1	6
新型コロナウイルスは、自分の友人や知人の多くに経済的な損失を与える	666	3.96	1.34	1	6
新型コロナウイルスは、日本経済に大きな損失を与える	666	5.00	1.08	1	6
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は長期的に回復しない	666	4.57	1.15	1	6
新型コロナウイルスは、世界経済に大きな損失を与える	666	5.00	1.05	1	6
新型コロナウイルスによる経済損失が大きく、日本経済は世界各国に遅れを取ってしまう	666	4.41	1.20	1	6
新型コロナウイルスによる経済損失から世界に先んじて回復すれば、日本経済は世界各国より優位に立てる	666	3.88	1.27	1	6

Q33　ワクチンを接種するかしないかについて、人々の意見や対応は分かれているようです。

では、下記の点について、あなた自身はどう思いますか。

すでにワクチンを１度でも接種された方は、**１回目を接種する前**のお気持ちを聞かせてください。

ワクチンを１度も接種されていない方は、**現在**のお気持ちを聞かせてください。

なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。

スケール：あてはまる(5)，ややあてはまる，どちらともいえない，あまりあてはまらない，あてはまらない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
発熱や腕の痛みなどが出る可能性があるのが怖かった（怖い）	666	3.56	1.25	1	5
副反応が重篤化(じゅうとくか)してしまう可能性が、わずかであっても存在することが怖かった（怖い）	666	3.50	1.26	1	5
ワクチンには、感染や症状の重症化を抑える効果があることが十分に示されていると思った（思う）	666	3.65	1.03	1	5
ワクチンの治験が十分に行われていないように感じられた（感じる）	666	3.37	1.09	1	5
ワクチンを接種しても、感染してしまう可能性はあるので、接種しても仕方ないと思った（思う）	666	2.84	1.28	1	5
基礎疾患があるので接種したくなかった（したくない）※基礎疾患がない人は、「あてはまらない」にチェックしてください。	666	1.85	1.27	1	5
不妊や胎児への影響など、女性の身体に悪影響があるのではないかと感じた（感じる）	0				
子宮頸がんのワクチンの安全性に疑問を感じているので、新型コロナウイルスのワクチンにも慎重にならざるを得ないと思った（思う）	0				
ワクチンに異物が混入していたという報道を見て怖かった（怖い）	666	3.38	1.23	1	5
日常生活や仕事などで対人接触が多いので、ワクチンを打った方がよいと思った（思う）	666	3.54	1.28	1	5
安心して外出したいので、ワクチンを打ちたいと思った（思う）	666	3.88	1.17	1	5
ワクチンの接種証明によって、活動の種類や範囲を広げたいと思った（思う）	666	3.42	1.21	1	5
ワクチンを打つことで、自分が他の人に感染させる可能性を減らせると思った（思う）	666	3.93	1.10	1	5
ワクチンを打たないと、不利な扱いや差別的な扱いを受けてしまうと思った（思う）	666	3.25	1.08	1	5
マスメディアでは、ワクチンは危険だという報道が多いと思った（思う）	666	3.12	1.12	1	5
インターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）では、ワクチンは危険だという言説が多いと思った（思う）	666	3.23	1.08	1	5
ワクチンを繰り返し打たないといけないのは面倒だと思った（思う）	666	3.56	1.20	1	5
ワクチンの予約がなかなか取れなかった（取れない）	666	3.14	1.35	1	5
ワクチンを打つことは、自然の摂理に反することだと思った（思う）	666	2.35	1.18	1	5
ワクチンを打つと、自分の遺伝子が変わってしまうことになると思った（思う）	666	2.08	1.16	1	5

※サブクエスチョン 7 と 8 については，女性のみに尋ねる予定だったが，プログラムの不備により，データが取得できず.

Q34　あなたは、以下のようなことがらについて、どのくらい不安を感じますか。
なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。
スケール：とても不安に思う(4)，少し不安に思う，あまり不安に思わない，全く不安に思わない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	666	3.36	0.75	1	4
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	666	2.86	0.86	1	4
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	666	2.93	0.76	1	4
世界各地で感染がなお収まらないこと	666	3.43	0.73	1	4
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	666	3.24	0.78	1	4
家族が感染すると、生活のさまざまな側面に支障が出ること	666	3.44	0.72	1	4
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	666	2.73	0.91	1	4
海外への旅行や出張ができないこと	666	2.32	1.09	1	4

Q35　あなたは、以下のようなことがらについて、他の人に伝えたり話をしたりしたいと思いますか。
なお、下記の内容には、科学的に不確かなものも含まれています。
スケール：伝えたり話したりしたい(4)，少し伝えたり話したりしたい，あまり伝えたり話したりしたくない，伝えたり話したりしたくない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
感染者が多くなると、病院や宿泊療養施設に入れなくなる可能性があること	666	2.69	0.91	1	4
新型コロナウイルスのワクチンを打たないことで、不利な扱いや差別的な扱いを受ける可能性があること	666	2.45	0.88	1	4
別の会社が開発した新型コロナウイルスのワクチンを打つことの安全性や効能には、不明な点があること	666	2.48	0.86	1	4
世界各地で感染がなお収まらないこと	666	2.80	0.93	1	4
貧困国などにワクチンが行きわたっていないこと	666	2.68	0.91	1	4
家族が感染すると、生活のさまざまな側面に支障が出ること	666	2.78	0.93	1	4
オンラインでの仕事や講義では、対面の場合よりも伝わらないことがあること	666	2.51	0.93	1	4
海外への旅行や出張ができないこと	666	2.29	0.99	1	4

Q36　あなたは、10 月 31 日の衆議院議員選挙で何党の候補者に投票しましたか。小選挙区と比例区別に教えてください。
答えたくない場合は「答えたくない」に、投票に行っていない場合は「投票に行っていない」に、チェックしてください。

	小選挙区			比例区		
	Freq.	Percent	Cum.	Freq.	Percent	Cum.
自民党	168	25.23	25.23	127	19.07	19.07
公明党	9	1.35	26.58	22	3.3	22.37
立憲民主党	101	15.17	41.74	82	12.31	34.68
日本共産党	23	3.45	45.2	25	3.75	38.44
日本維新の会	64	9.61	54.8	90	13.51	51.95
国民民主党	6	0.9	55.71	13	1.95	53.9
れいわ新撰組	5	0.75	56.46	14	2.1	56.01
社民党	1	0.15	56.61	4	0.6	56.61
NHK と裁判してる党弁護士法 72 条違反で	2	0.3	56.91	8	1.2	57.81
それ以外の政党	2	0.3	57.21	3	0.45	58.26
無所属	8	1.2	58.41	5	0.75	59.01
答えたくない	120	18.02	76.43	116	17.42	76.43
投票に行っていない	147	22.07	98.5	147	22.07	98.5
.	10	1.5	100	10	1.5	100
Total	666	100		666	100	

Q37　新型コロナウイルスが流行して以来、これまで、3 つの政権がこれに対応してきました。それぞれの政権担当者の新型コロナウイルスに関わる対策について、あなたはどのように評価しますか。また、専門家会議や分科会の座長や会長については、いかがでしょうか。
評価が高くも低くもない場合は、「どちらともいえない」に、その人物の政策や活動について知らなかったり、評価できなかったりする場合は、「わからない」にチェックしてください。
スケール：高く評価する(5)，やや評価する，どちらともいえない，あまり評価しない，全く評価しない(1)，わからない(7)
※以下の集計では，1～5 のスケール部分と，「わからない」を分け，スケール部分について平均値等を算出した．「わからない」の回答人数については，666 から Obs の値を引いたものとなる．

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
安倍政権の安倍晋三首相（発生当時から 2020 年 9 月 16 日）	623	2.55	1.22	1	5
安倍政権下の加藤勝信厚生労働大臣	586	2.47	1.12	1	5
菅政権の菅義偉首相（2020 年 9 月 16 日から 2021 年 10 月 4 日）	628	2.74	1.25	1	5
菅政権下の田村憲久厚生労働大臣	587	2.71	1.09	1	5
安倍政権下・菅政権下の西村康稔新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣（2020 年 3 月 6 日から 2021 年 10 月 4 日）	599	2.70	1.13	1	5
菅政権下の河野太郎ワクチン接種推進担当大臣（2021 年 1 月 18 日から同年 10 月 4 日）	612	3.17	1.15	1	5
岸田政権の岸田文雄首相（2021 年 10 月 4 日から現在）	611	2.98	1.08	1	5
岸田政権下の後藤茂之厚生労働大臣	562	2.68	0.96	1	5
岸田政権下の山際大志郎新型コロナ対策・健康危機管理担当大臣	554	2.69	0.95	1	5
岸田政権下の堀内詔子ワクチン接種推進担当大臣	556	2.68	0.97	1	5
新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（2020 年 2 月 14 日から同年 7 月 3 日）の脇田隆字座長	558	2.82	1.00	1	5
新型コロナウイルス感染症対策分科会（2020 年 7 月 6 日から現在）の尾身茂会長	603	3.20	1.19	1	5

Q38　あなたは次のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用していますか。
利用している SNS にすべてチェックを入れてください。
どれも利用していない方は、「あてはまるものはない」をチェックしてください。

Twitter	Freq.	Percent	Cum.
0	443	66.52	66.52
1	223	33.48	100.00
Total	666	100.00	

Facebook	Freq.	Percent	Cum.
0	517	77.63	77.63
1	149	22.37	100.00
Total	666	100.00	

Instagram	Freq.	Percent	Cum.
0	482	72.37	72.37
1	184	27.63	100.00
Total	666	100.00	

LINE	Freq.	Percent	Cum.
0	209	31.38	31.38
1	457	68.62	100.00
Total	666	100.00	

あてはまるものはない	Freq.	Percent	Cum.
0	512	76.88	76.88
1	154	23.12	100.00
Total	666	100.00	

Q39　あなたがフォローしているアカウント数（フォロー数）や友だちの数を教えてください。（半角数字を記入してください。）
注意：「フォロー数」は組織などをフォローしている場合も含みます。フォローされている数（フォロワー数）ではありません。

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
Twitter（自分がフォローしている数）	224	136.29	308.52	0	3000
Facebook（友達の人数）	149	79.54	154.30	0	1000
Instagram（自分がフォローしている数）	184	98.91	160.27	0	1024
LINE（友だちの数）	457	52.37	73.69	0	600

Q40　下にいくつかの苗字を示します。あなたの友人・知人（家族・親戚は含みません）の中で、次のような苗字の方は、何人いますか。その人数を選んでください。
その苗字の友人・知人がいない場合には、「0 人（いない）」を選択してください。
※リストされている苗字は，以下の 20 の苗字である．岩崎，平野，上野，高田，石田，和田，田村，中野，松田，青木，松井，小山，村田，大野，横山，柴田，中山，岡田，小川，藤田
※以下の集計では，20 の苗字の友人・知人数の合計値を示す．

Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
666	6.80	8.58	0	78

Q41　あなた自身について、いくつかお尋ねします。以下の文章について、それぞれの文章があなた自身にどの程度あてはまるかを考え、あてはまるものを選んでください。

スケール：あてはまる(5)，ややあてはまる，どちらともいえない，あまりあてはまらない，あてはまらない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
まわりの人と協力していると心地よく感じる	666	3.48	0.88	1	5
つい人の視線が気になってしまう	666	3.15	1.13	1	5
たいていは自分だけで物事の決断をする	666	3.44	0.95	1	5
つねに自分自身の意見を持つようにしている	666	3.53	0.90	1	5
自分の意見をいつもはっきり言う	666	3.13	0.97	1	5
まわりの人が自分をどう思っているかが、つい気になる	666	3.19	1.12	1	5
まわりの人との間で和をたもつことを大切にしている	666	3.71	0.83	1	5
まわりの人の気持ちを尊重するようにしている	666	3.69	0.79	1	5
ほかの人とはちがった生き方をしたい	666	3.08	0.95	1	5
人と話をするときには、直接的にずばりと言う方が好きだ	666	3.06	1.01	1	5
まわりの人との関係や、地位のちがいがつい気になってしまう	666	2.98	1.04	1	5
相手を傷つけないようにあいまいな表現をするより、はっきりと自分の考えを伝えるようにしている	666	3.15	0.93	1	5
ほかの人とはちがう自分が好きだ	666	3.18	0.97	1	5
いつも自分の立場をちゃんと主張するようにしている	666	3.18	0.93	1	5
自分の利益にならなくても、まわりの人の役に立つことができればうれしい	666	3.43	0.89	1	5
自分の好きなようにできなくなるくらいなら、人の助けを求めたいとは思わない	666	3.22	0.92	1	5
まわりの人がどう思うかが気になって、自分のしたいことをそのままできないことがある	666	3.08	1.08	1	5
いつもまわりの人の立場にたって物事を考えるようにしている	666	3.43	0.83	1	5
まわりの人に左右されない生き方をしたい	666	3.86	0.89	1	5
まわりの人からきらわれないようにふるまうことがよくある	666	3.28	0.97	1	5

Q42　次のようなことは、どのくらいあなたにあてはまりますか。最も近いものを選んでください。

スケール：よくあてはまる(4)，あてはまる，あてはまらない，全くあてはまらない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
何かを計画する時、失敗している自分の姿が頭に浮かぶ	666	2.32	0.77	1	4
何をしても、うまくいかないことばかりを想像する	666	2.36	0.80	1	4
何かに取りかかる時は、失敗するだろうと考える	666	2.36	0.76	1	4
自分の将来は、良いことが起こると思う	666	2.55	0.81	1	4
将来、幸せになれると思う	666	2.56	0.80	1	4
自分の将来は、恵まれていると思う	666	2.47	0.82	1	4

Q43　あなたの考えに最も近いものを選んでください。

スケール：そう思う(4)，ややそう思う，あまりそう思わない，そう思わない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
私は人を信頼するほうである	666	2.68	0.79	1	4
ほとんどの人は信頼できる	666	2.44	0.77	1	4
ほとんどの人は基本的に善良で親切である	666	2.59	0.74	1	4
私は自分自身のことを、活発で、外交的だと思う	666	2.11	0.81	1	4
私は自分自身のことを、ひかえめで、おとなしいと思う	666	2.52	0.82	1	4

Q44　世の中のありかたについて次のような意見があります。あなたはどう思いますか。あなたの考えにいちばん近いものをひとつ選んでください。

スケール：そう思う(5)，どちらかといえばそう思う，どちらともいえない，どちらかといえばそう思わない，そう思わない(1)

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
権威ある人々にはつねに敬意を払わなければならない	666	2.90	1.01	1	5
以前からなされてきたやり方を守ることが、最上の結果を生む	666	2.86	0.90	1	5
伝統や習慣にしたがったやり方に疑問を持つ人は、結局は問題を引き起こすことになる	666	2.83	0.89	1	5
この複雑な世の中で何をすべきかを知る一番よい方法は、指導者や専門家に頼ることである	666	2.95	0.93	1	5

Q45　あなたが通ったことのある学校を、すべてお聞かせください。中退・通学中の学校にも選んでください。

※以下の集計では，リコードしなおした結果を掲載している．

学歴				
	識別値	Freq.	Percent	Cum.
中学校	1	23	3.45	3.45
高校	2	277	41.59	45.05
短大・高専	4	67	10.06	55.11
大学	5	269	40.39	95.50
大学院	6	30	4.50	100.00
Total		666	100.00	

Q46　令和元年（2019 年、新型コロナウイルスが流行する前年)、令和 2 年（2020 年)、令和 3 年（2021 年）の 1～12 月のあなたの収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。
年金、株式配当などすべての収入について、臨時収入、副収入も含めてお答えください。
令和 3 年（2021 年）については、見込みの額をお答えください。

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
2019 年	666	252.83	399.31	12.5	3250
2020 年	666	249.29	399.08	12.5	3250
2021 年	666	244.61	392.68	12.5	3250

Q47　令和元年（2019 年)、令和 2 年（2020 年)、令和 3 年（2021 年）の 1～12 月のあなたの世帯全体の収入（あなたと配偶者とその他の方の合計）は、税込みでいくらぐらいでしたか。
年金、株式配当などすべての収入について、臨時収入、副収入も含めてお答えください。
令和 3 年（2021 年）については、見込みの額をお答えください。

Variable	Obs	Mean	Std. dev.	Min	Max
2019 年	666	498.07	489.91	12.5	3250
2020 年	666	495.16	489.06	12.5	3250
2021 年	666	495.36	486.92	12.5	3250

アンケートにご協力いただきありがとうございます。
回答が記録されました。

新型コロナウイルスの社会的影響にかかわる調査
2021 年度　「社会調査実習 B」報告書

近畿大学　総合社会学部　社会・マスメディア系専攻

2022 年 3 月 31 日　印刷・発行

編集・発行　科目担当教員：教授　辻　竜平
近畿大学　総合社会学部　社会・マスメディア系専攻
〒577-8502　東大阪市小若江 3-4-1
Phone: (06) 4307-4793（直通）
E-mail: rtsuji@socio.kindai.ac.jp